

埼玉県議会議員

「夢は力」ふるさとの思いを
県政に!

県
政
報
告

令和6年(2024年)春号
埼玉県議会 自由民主党議員団
埼玉県議会議員
全国財政委員
少子・高齢福祉社会対策特別委員

うめざわ 佳一

よしかず

梅沢 佳一

〒344-1102 久喜市栗橋中央2-2-11
TEL.02-52-5517 FAX.02-52-5517

地域と県政を結ぶ 架け橋として**全力投球!!**

夢は力

大野元裕知事、梅田修一市長と強い絆でタッグを組み、地元・久喜市の治水対策をはじめ道路交通網の課題、産業団地などの地域活性化施策にともに取り組んでいます。



利根川堤防強化事業

防災公園& 防災拠点施設整備へ

地元の方のご協力のもと進められてきました利根川堤防強化事業は、完成に向け大詰めを迎えています。

令和6年度は八坂神社前の防災公園及び防災拠点施設の整備が行われます。



防災拠点施設完成イメージ



八坂神社の前、県道羽生外野栗橋線沿いに防災拠点施設が建設されます。完成は令和6年度中の予定です。

■一級河川中川改修事業(一部抜粋)

一級河川中川の治水対策として、県は宇和田堰(幸手市宇和田)から古門樋橋(久喜市高柳)までの区間について、河道の拡幅や橋りょうの架け換えなどの河川改修事業を進めています。

34 補6 JR橋りょう(古利根川橋梁)架換事業

中川の河道を拡幅するため、JR宇都宮線古利根川橋りょうの架換事業を進めています。

●JR橋りょう架け換えに伴う列車の運休等について

JR宇都宮線古利根川橋りょうの架け換え工事に伴い、下り線の線路を現在の橋から仮橋に繋ぎ変えるためにJR宇都宮線の一部列車が運休になります。市民の皆さまにはたいへんご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

●運休期間:令和6年4月28日(日)21時頃~29日(月・祝)8時頃

●列車運休に伴うバス代行輸送について

久喜~栗橋駅間及び栗橋~古河駅間で、バスによる代行輸送を行います。

【運転時間】4月28日(日)21時00分頃~終電

4月29日(月・祝)初電~8時00分頃

【所要時間】久喜~栗橋駅間:約40分(約5分~15分程度に1本の運転間隔)

栗橋~古河駅間:約30分(約5分~15分程度に1本の運転間隔)

※久喜~古河駅間を直通するバスの運転はありません。

※久喜駅及び古河駅での列車と代行バス、栗橋駅での代行バス同士の接続は行われません。

※道路状況や混雑等により、時間を要する場合がありますため、他の鉄道会社線への振替輸送をご利用いただくか、お時間に余裕をもってご利用ください。



※詳しくは東日本旅客鉄道(株)のHPをご確認ください。



12 14 門樋橋(さいたま栗橋線)の架換事業



地元の皆さまのご協力のもと、架け換えのための仮橋(仮設道路)の設置工事が始まります。



D 島川橋の架換事業

地元の皆さまのご協力のもと、架け換えのための仮橋がまもなく完成します。



D 宇和田さくら堰も令和3年から稼働

中川流域の浸水被害を早期に軽減させる対策として、中川の洪水を効率的に江戸川へ排水するための堰(宇和田さくら堰)が一級河川中川と幸手放水路との分流部に整備され、令和3年6月から供用を開始しています。



地域の安全性・
利便性の向上
目指す
道路整備事業
(一部抜粋)



3 小林交差点(川越栗橋線)

早期完成に向け、引き続き交差点改良事業が進められています。



5 上清久交差点(川越栗橋線)

安全な交差点に向け、右折帯や歩道の整備事業がスタートします。



26 呉服跨線橋(阿佐間幸手線)

本年度も橋脚補強、落橋防止工事が進められています。

■その他、治水事業(中川・綾瀬川流域治水プロジェクト/一部抜粋)

30補9 庄兵衛堀川(導排水路整備)

庄兵衛堀川流域の浸水被害を早期に軽減させる対策として、久喜菖蒲公園の調整池(昭和沼)に庄兵衛堀川の洪水を受け入れるための導排水路施設の整備が進んでいます。



2933補10 小林調節池

野通川の洪水調節を行うため、整備が急がれている小林調節池。国の国土強靱化事業の指定を受け、急ピッチで工事が進んでいます。



◀2月26日の撮影日は越流堤の基礎工事が完了したところでした。越流堤とは、堤防の一部分を低くして、洪水が越流堤の高さを越えた時には洪水の一部が調節池に流れ込む構造になっています。



13.8haの広大な面積を有する小林調節池。洪水調節量は毎秒14.1m³、調節容量は68万m³を想定しています。

32補8 青毛堀川河川改修

青毛堀川には、多くの橋りょうがあります。本年も鷲宮地区の護岸工、橋りょう架け換えに向けた測量設計が行われます。



■地域に貢献できる産業団地整備事業

B 久喜高柳地区産業団地整備本格化

令和4年度より、久喜高柳地区産業団地について事業化し、「埼玉の持続的成長を支える産業基盤づくり取組方針」に基づき、埼玉県(企業局)と久喜市が共同で整備を進めています。現在、急ピッチで造成が進んでいます。今後、分譲の募集が行われ、令和7年度末までに各誘致企業へ引き渡される予定です。

※分譲面積:約158,300m²(団地総面積:約189,800m²)
令和6年度予算額17億1,174万6千円を予定しています。



※土地利用計画図は現在の図面で、変更となる場合があります。

■スーパー・シティまちづくり支援事業《浮きウキカーボンニュートラル》

C 再生可能エネルギー活用基盤整備支援

権現堂調節池(県管理施設)に太陽光発電施設を設置できるよう、管理用道路の設置等を行い、久喜市による再生可能エネルギーの創出及び地産地消や、地域防災によるレジリエントなまちづくりの推進を支援します。

権現堂調節池で発電された電力は、近隣の公共施設で活用される他、蓄電池によって蓄電し、災害時の非常用電源として利用が可能となります。



イメージ図



4補1 阿佐間幸手線(佐間)

久喜市と協力して、歩道の整備及び交差点改良に向けた事業が引き続き進められています。



7 川越栗橋線(菖蒲町三箇)

安全対策を第一に歩道の整備事業が引き続き進められています。



10補3 幸手久喜線(菖蒲町三箇)

地元の皆さまのご協力をいただき、歩道の整備事業が引き続き進められています。



816補2 加須幸手線

地元の皆さまのご協力により用地の確保が進み、バイパス整備事業が進められます。

令和6年度 久喜市の主な県事業

《県土整備部》

令和6年度当初予算

令和6年度において予算を確保することができました、久喜市全域の主な県事業(インフラ整備等)をご報告します。

路線名等	事業概要等
① 杉戸久喜線	街路改良事業(L=620m、W=10.5(22.0)m)
② 杉戸久喜線	街路整備(L=620m、W=10.5(22.0)m)
③ 川越栗橋線(菖蒲町小林)	交差点整備(L=600m、W=9.0(15.5)m)
④ 阿佐間幸手線(佐間)	交通安全施設整備事業(L=750m、W=6.0(12.0)m)
⑤ 川越栗橋線(上清久)	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業(L=760m、W=9.0(15.0)m)
⑥ 川越栗橋線(葛梅)	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業(L=200m、W=6.5(12.5)m)
⑦ 川越栗橋線(菖蒲町三箇)	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業(L=240m、W=6.0(12.0)m)
⑧ 加須幸手線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=3,255m、W=13.0(22.0)m)
⑨ 北根菖蒲線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=1,185m、W=6.0(12.0)m)
⑩ 幸手久喜線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=376m、W=9.0(21.0)m)
⑪ 行田蓮田線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=1,960m、W=6.5(15.0)m)
⑫ 門樋橋(さいたま栗橋線)	橋りょう架換(L=43.9m、W=13.0(17.0)m)
⑬ 春日部菖蒲線	橋りょう架換(L=655m、W=6.5(15.0)m)
⑭ 門樋橋(さいたま栗橋線)	橋りょう整備事業(L=43.9m、W=13.0(17.0)m)
⑮ 春日部菖蒲線	社会資本整備総合交付金(橋りょう整備)事業(L=655m、W=6.5(15.0)m)
⑯ 加須幸手線	道路改築(L=3,255m、W=13.0(22.0)m)
⑰ 阿佐間幸手線(河原代)	舗装道整備(舗装修繕、W=6.3m、L=320m)
⑱ 北中曽根北大桑線(北中曽根)	舗装道整備(舗装修繕、W=5.6m、L=350m)
⑲ さいたま栗橋線(江面)	舗装道整備(舗装修繕、W=6.3m、L=230m)
⑳ 国道122号(菖蒲町台)	舗装道整備(舗装修繕、W=13m、L=100m)
㉑ 下石戸上菖蒲線(菖蒲町小林)	舗装道整備(舗装修繕、W=6.3m、L=300m)
㉒ 五領大橋(右)(幸手久喜線)	橋りょう修繕(落橋防止)
㉓ 行田蓮田線(菖蒲町上栢間)	舗装道整備(舗装修繕、W=6.3m、L=500m)
㉔ 行田蓮田線(菖蒲町上栢間)	道路環境整備(側溝高上げ、L=80m)
㉕ 国道122号(菖蒲町台)	道路環境整備(防草対策工、L=1,800m)
㉖ 呉服跨線橋(阿佐間幸手線)	橋りょう修繕(橋脚補強、落橋防止)

路線名等	事業概要等
㉗ 青毛堀川	河川改修(護岸工、測量設計)
㉘ 野通川	河川改修(護岸工)
㉙ 元荒川	河川改修(測量設計)
㉚ 庄兵衛堀川	河川改修(排水設備工)
㉛ 中川	河川改修(測量設計、用地買収)
㉜ 青毛堀川	河川改修(護岸工、橋りょう架換工、測量設計)
㉝ 元荒川	社会資本整備総合交付金(河川)事業(調節池整備工)
㉞ 中川	河川改修(橋りょう架換工)



令和5年度2月補正予算(国の補正対応分)

路線名等	事業概要等
補1 阿佐間幸手線(佐間)	交通安全施設整備事業(L=750m、W=6.0(12.0)m)
補2 加須幸手線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=3,255m、W=13.0(22.0)m)
補3 幸手久喜線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=376m、W=9.0(21.0)m)
補4 行田蓮田線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=1,960m、W=6.5(15.0)m)
補5 五領大橋(右)(幸手久喜線)	社会資本整備総合交付金(橋りょう維持)事業(落橋防止)
補6 中川	河川改修事業(橋りょう架換工)
補7 中川	社会資本整備総合交付金(河川)事業(橋りょう架換工、用地買収)
補8 青毛堀川	社会資本整備総合交付金(河川)事業(橋りょう架換工)
補9 庄兵衛堀川	社会資本整備総合交付金(河川)事業(導排水路工)
補10 元荒川	社会資本整備総合交付金(河川)事業(調節池整備工)



② 下石戸上菖蒲線(菖蒲町小林)、痛んだ舗装の修繕が行われます。

うめざわ佳一プロフィール

- 昭和47年3月 埼玉県立浦和商業高等学校卒業
- 2年間スーパー勤務の後、家業(八百屯)に従事
- 平成元年 埼玉県商工会青年部連合会長
- 平成9年 周囲の薦めで政治の道歩み、栗橋町議会議員に当選(2期6年)
- 平成15年 埼玉県議会議員初当選(3期12年)
- 平成22年 久喜市栗橋地区堤防強化対策協議会長
- 令和3年 第125代県議会議長に就任
- 他に中学校PTA副会長、消防団員、阪東太鼓会員、阪東神輿会会員等



うめざわ佳一事務所

〒349-1102
 埼玉県久喜市栗橋中央2-9-14
 TEL・FAX : 0480-52-5517
 https://
 umezawa-yoshikazu.com/



埼玉県議会議員

「夢は力」ふるさとの思いを
県政に!

県政報告

うめざわ 佳一

よしかず

令和6年(2024年)冬号
埼玉県議会 自由民主党議員
埼玉県議会議員
企画財政委員
少子・高齢福祉対策特別委員

梅沢 佳一

〒349-1102 久喜市栄橋中央2-2-11
TEL:049-52-5517 FAX:049-52-5517

県議会
12月
定例会報告

物価高への緊急支援に約115億円 猛暑被害の農家支援に約1億円を議決

県議会12月定例会は12月4日から22日の日程で開催され、一般会計補正予算【第3号】9,688万1千円、【第4号】18億1,140万4千円、【第5号】114億9,715万2千円等を議決しました。

補正予算【第3号】は、令和5年夏の猛暑による水稻、大豆の高温障害を受け、次期作付けにかかる種苗や肥料購入経費を補助するための予算、補正予算【第4号】は、職員給与の改定等に伴う予算が主な内容となっています。

補正予算【第5号】は、物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者を支援するための、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づくものです。これまで県が進めてきた福祉・医療施設等への光熱費等の支援やLPガスを使う一般家庭への支援等に加え、トラック運送事業者に対する燃料費の支援、県産農産物販売促進キャンペーンを通じた農業者支援及び家計負担軽減策、一人親家庭の子供の進学等への支援等が新たに盛り込まれました。



補正予算【第3号】の主な内容

高温などによる水稻及び大豆の被害への対応

農業災害対策特別措置条例に基づく支援
【特別災害の指定 令和5年11月21日】

9,676万5千円

令和5年夏の気象概況

- 6~9月の平均気温が観測史上最高となる異常な高温
- 県内の一部では7月の降水量が観測史上最少
- 高温や干ばつによる県内農作物への甚大な被害が発生
→農業災害対策特別措置条例に基づく特別災害に指定
(令和5年11月21日)



補助内容等

- 次期作付けに係る経費を支援する市町村に対して補助
- 支援対象:高温・干ばつにより被害を受けた農業者
- 補助対象:種苗、肥料購入経費
- 事業主体:市町村
- 負担区分:県1/2、市町村1/2



県内の農作物の被害状況

水稻:高温の影響で米の粒の一部が白くなる
白未熟粒の米が発生
被害面積:1,221ha(速報値)



正常粒 白未熟粒
(農林水産省HP検査用語の解説より)

大豆:高温・干ばつの影響で十分に成熟しない豆が発生
被害面積:307ha(速報値)

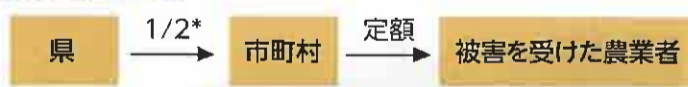


正常さや 不稔さや

対象地区

県内全市町村
(高温・干ばつの影響で被害を受けた地域)

事業スキーム



* 市町村に対する補助額が10万円未満の場合は適用除外

オリンピック・パラリンピック・デフリンピック応援議員連盟に名称変更

私が参加している「埼玉県議会オリンピック・パラリンピック応援議員連盟」は12月12日に総会を開き、2025年に日本で初めて開催される「デフリンピック※」を応援するため、「埼玉県議会オリンピック・パラリンピック・デフリンピック応援議員連盟」に名称の変更を決めました。少しでも多くの方にデフリンピックについて関心を持っていただけるよう、応援議員連としても全力で取り組んでまいります。

※デフリンピックとは、国際的なろう者のためのオリンピックです。4年に1度、夏季大会と冬季大会が開催され、2025年には日本で初めて開催されます。詳しくは一般財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会のホームページをご覧ください。
<https://www.jfd.or.jp/sc/deaflympics>



埼玉県議会オリンピック・パラリンピック・デフリンピック応援議員連盟のメンバー

●能登半島地震により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

補正予算[第5号]の主な内容

物価高騰の影響を受ける生活者・事業者に対する緊急支援

- ① LPガスを使用する一般消費者等に対する支援…………… **31億8,743万7千円**
LPガス料金の高騰による一般消費者等の負担を軽減するため、販売事業者を通じ、価格高騰の影響分の一部を補助する。<繰越明許費の設定>
- ② **新**子供の進学等への支援…………… **1,171万5千円**
経済的課題を抱えるひとり親家庭等の子育て世帯について、子供の進学に向けたチャレンジを後押しするため、大学等の受験料や中学・高校3年生の模試費用などの支援を行う市町村に対して補助する。
- ③ 福祉施設、医療施設等に対する支援…………… **36億148万4千円**
光熱費等の高騰の影響を緩和するため、高齢者施設、障害者施設、児童養護施設、保育所、病院、一般診療所、分娩取次助産所、施術所、私立学校、卸売市場、園芸施設等に対し補助する。
- ④ **新**トラック運送事業者に対する支援…………… **23億2,800万円**
燃料価格の高騰の影響を緩和するため、運送事業者に対し補助する。<繰越明許費の設定>
- ⑤ 地域公共交通事業者に対する支援…………… **1億2,900万円**
燃料価格の高騰の影響を緩和し運行継続を支援するため、乗合バス及びタクシー事業者に対し補助する。
- ⑥ 畜産農家に対する支援…………… **5億1,335万円**
配合飼料価格のうち製造及び流通コストの上昇分の影響を緩和するため、畜産農家に対し補助する。
- ⑦ **新**県産農産物販売促進キャンペーンを通じた農業者
支援及び家計負担軽減…………… **3億489万4千円**
県産農産物の取扱量の増加及び県民の家計負担の軽減を図るため、量販店等が行う販促促進キャンペーンに対し補助する。



防災の要 消防団を応援しよう！ 久喜市消防特別点検行われる

令和5年11月12日、久喜市立栗橋東中学校運動場を会場に久喜市消防特別点検が行われました。

訓練の終わりに地元選出県議として「皆さん、本日は早朝より令和5年度久喜地区消防組合消防特別訓練に参加いただき、ありがとうございます。分列行進・服装規律の点検・車両機械器具の点検・ポンプ車操法、など拝見させていただきました。一市民として大変頼もしく感じました、今日の点検のために仕事が終わった後、日々練習を重ねたことに深く感謝申し上げます。いざ災害の発生時には地域を良く理解されている皆様が一番頼りであります。私は、県議会の立場から団員の名誉と処遇改善に全力で取り組みたいと考えております。市民の皆さんにもお願いですが、皆で消防団を応援しましょう!!」と挨拶させていただきました。

- ①消防団長を先頭に、分列行進を開始しました。団員も日頃の訓練の成果で素晴らしい行進でした。
- ②服装規律の点検を実施しました。規律ある整頓、整列し服装の点検を受けました。
- ③消防車両・機械器具の点検です。各団員は車両の後ろに整列、機械器具の点検を受けました。
- ④久喜市女性消防団員による心肺蘇生法やAEDの使用訓練を実施いたしました。
- ⑤ポンプ車操法訓練の開始です。ポンプ車を使い指揮者他4名で、火災時における基礎的な消化活動です。日頃の訓練の成果が伺えた各団素晴らしいポンプ車操法でした。



うめざわ佳一プロフィール

- 昭和47年3月 埼玉県立浦和商業高等学校卒業
- 2年間スーパー勤務の後、家業(八百亀)に従事
- 平成元年 埼玉県商工会青年部連合会長
- 平成9年 周囲の薦めで政治の道歩み、栗橋町議会議員に当選(2期6年)
- 平成15年 埼玉県議会議員初当選(3期12年)
- 平成22年 久喜市栗橋地区堤防強化対策協議会長
- 令和3年 第125代県議会議長に就任
- 他に中学校PTA副会長、消防団員、阪東太鼓会員、阪東神輿会会員等



うめざわ佳一事務所

〒349-1102
埼玉県久喜市栗橋中央2-9-14
TEL・FAX：0480-52-5517
https://
umezawa-yoshikazu.com/



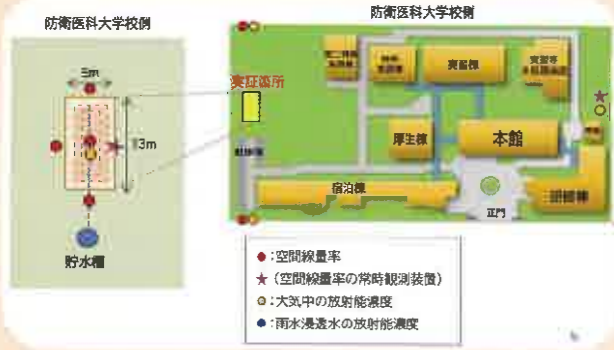
除染土の再利用実験

環境省はきちんと安全性の説明を!!

12月16日に、福島原発の除去土壌の再利用実証実験を環境調査研究所(防衛医大の隣)で実施する説明会が開催されました。岡田しずかも参加を希望しましたが、50人程度の人数制限があり、近隣住民でないことから出席が認められませんでした。多くの市民が不満と不安を抱きました。

そして、1月21日に弥生町町会が反対決議をし、環境省は計画を練り直しています。

1999年の所沢市のダイオキシン騒動では、風評被害で農作物が売れなくなる等の被害が発生しました。岡田しずかは、福島だけに負担を押し付けるのではなく、全国に分散することは賛成ですが、まずは、誰でも参加できる説明会を開き、風評被害対策も含め、所沢の皆様の理解を得られるまでは、地元県議として反対する旨を埼玉県庁を通じて、申し入れしました。



性暴力根絶プロジェクト事務局長に就任

自民党県議団では、プロジェクトを作り8年間で23本の議員提出議案を提案し可決できました。

全国初の「ケアラー支援条例」をはじめ、「障がい者差別禁止条例」「犯罪被害者支援条例」「動物愛護条例」「ひきこもり支援条例」等を制定しました。

岡田しずかは全てのプロジェクトメンバーとして活躍させていただきましたが、12月議会に新しく立ち上げた「性暴力根絶プロジェクト」の事務局長を拝命しました。

特に若年層の被害も多く、根絶に向けてしっかりと取り組んでいきます。

編集後記

4月の選挙に向けてバタバタの毎日です。とにかく病気と怪我をしないように。コロナとインフルワクチンのW接種し、野菜多め・お酒少なめを心がけています。

岡田しずかのSNS

最新情報はこちらをご覧ください。

ご意見はこちらへメール

okadashizuka412@yahoo.co.jp



Twitter
(ツイッター)



Facebook
(フェイスブック)



Instagram
(インスタグラム)

開智所沢小学校・中等教育学校の起工式

令和6年4月に、所沢市松郷169(東所沢駅から徒歩12分)に開校予定の開智学園の起工式が行われました。所沢市初の私立学校です。

藤本市長が県議時代から誘致を進めており、私も設置に向けて応援してきました。国際的な教育プログラムを取り入れた小中一貫校です。所沢市のまちの活性化と教育水準の底上げを期待します。



(藤本市長・青木理事長・岡田しずか・小島自民党県議団長)

彩の国ビジネスアリーナ2023

2月8日・9日、さいたまスーパーアリーナで、埼玉県内の中小企業の受注確保・販路開拓、技術力向上を促進し、企業間マッチングなどでビジネスチャンスを創出する目的で開催。産業労働企業委員長として出席しました。



(株)タイヤ (株)海外テクノロジー

一橋大学院生になります

4月から、一橋大学の国際・公共政策大学院に2年間通います。保健所問題や条例制定をしていく中で、法律や経済に知識が足りないので深く学びたいと考えるようになりました。

コロナ禍でイベントが少なかったので猛勉強したところ運よく合格しました。研究計画書のテーマは、「地方分権時代における施行時特例市の保健所設置主体はどこか～所沢保健所を復活させるのは、県か市か～」です。

あくまでも議員活動がメインなので、どこまで勉強時間が取れるかわかりませんが、頑張っって県議会のシンクタンクとしても活動していきます。

埼玉県議会議員

県議会レポート vol.21 <2023.2> (討議資料)

岡田しずか

発行元/埼玉県議会議員 岡田静佳 政務活動事務所
〒359-1141 所沢市小手指町1-30-20-202 TEL/FAX 04-2921-7533

中央大学法学部卒業、所沢市議会議員12年、産業企業労働委員長、コロナ対策特別委員、少子・高齢福祉社会対策特別副委員長、都市計画審議会委員、自由民主党県議団青年局女性部長



岡田しずかの一般質問

1時間40分間、知事や部長に鋭く質問しました!!

こどもまんなか
社会にして!!

大江戸線
多摩モノレール
武蔵野線を
所沢に!!

所沢保健所
の復活を!!

イベント出店
許可が
厳しすぎる?

学校のICT
もっと頑張って!!

女性の
がん対策を!

北野天神交差点
狭山湖入口
交差点の
拡幅を!

工業高校で
航空宇宙を
学べ!!

ナラ枯れ
対策を急いで

高齢者講習が
なぜ
さいたま市?

高橋交差点の
歩行者
対策を!

所沢市スポーツサッカー少年団と、スケボー愛好会の方が傍聴に来てくださり、要望活動を行ってくれました。お陰様で、航空公園サッカー場の子ども料金の半額値下げと、スケボーパーク設置の計画がスタートしました。

詳しくは次ページをごらんください!!



所沢市少年サッカー連盟



スケボー愛好会

所沢保健所復活を!
しずかは静かにしていません!!

岡田しずかの一般質問 令和4年12月13日

1. 所沢保健所を復活できないか?

大野知事) 現時点で、西部保健医療圏に複数の保健所を設置することは考えていない。

所沢市が必要だということであれば最大限の支援をしていきたい。

しずか) 2/14日に藤本市長が大野知事に所沢保健所設置の要望書を提出しました。



2. 狭山保健所のイベント出店に対する対応を改めるべきでは?

保健医療部長) 保健所毎に差がでないように臨時出店の運用ガイドラインを作る。

しずか) 多くのお祭りの主催者から狭山保健所だけ厳しいとクレームをいただきました。今後も注視していきます。



5. 川越工業高校に航空宇宙学科の設置をできないか?

教育長) 航空宇宙に関する学科の設置に関し、産業労働部や関連企業等との連携を図りながら、調査研究に着手する。

しずか) 私が勤めていた(株)IHの、鶴ヶ島工場が令和3年に建設され稼働しています。講師派遣や実習等で連携させてもらい高校生の採用にも繋げていきたいと考えています。



6. 所沢航空記念公園にスケボーパークの設置とサッカー場の値下げをできないか?

都市整備部長) 小噴水広場をスケートボード専用エリアとして整備する手法について検討する。

人工芝サッカー場は、4月から高校生以下の半額料金の設定に向けた調整を進める。

しずか) 関係団体の皆様と調整を続けてきて、やっと見通しが立ってきました。実現に向けてより良い公園となりますように頑張ります!



9. 多子世帯応援クーポンを現金支給に変更できないか?

福祉部長) 国が新に実施する「出産・子育て応援交付金」の動向も注視しながら来年度の実施について検討していく。

しずか) クーポンについては、色々の意見をお聞きします。自民党女性局のメンバーとして母親目線で国にも意見をしていきます。

10. 埼玉県警察の配偶者間における子どもの連れ去りへの対応方針は?

警察本部長) 親族間の揉め事などと考えることなく、両当事者から話を聞くなどし、警察本部と警察署が連携して、迅速かつ適切に対応する。

しずか) 私のこの質問の動画再生が2万回となり、全国で実子に会えない親から沢山の激励をいただきました。子ども目線での法整備が必要です。



13. 学校のICT化、通信環境整備の強化をできないか?

高柳副知事) ICT助成に係る運営費補助を含め、私立高校の助成についても検討を進める。

しずか) 所沢中央高校の生徒にWifi回線が混んでいて中々繋がらないから増やして欲しいと要望をいただきました。公私共に端末だけでなく、回線も増やすように要望していきます。

14. JR武蔵野線を所沢駅まで運行できないか?

企画財政部長) 事業化にあたっては課題も多いと伺っているが、地元の移行を踏まえながら、鉄道事業者に対し、しっかりと要望を伝えるなど、働きかけをしていく。

しずか) 西武鉄道の車両輸送に使用されている線路があるので、秋津駅の乗換え対策として活用を求めていきます。



秋津駅の乗換え

3. 少子化対策局を、こどもまんなか局に組織変更できないか?

福祉部長) こども家庭庁の動きも見極めてから必要性を判断したい。

しずか) 少子化対策という行政目線の名称に強い違和感を覚えます。県の考え方そのものを改めなくてはなりません。

7. 埼玉県ささら獅子舞大会を開催できないか?

県民生活部長) お囃子等の郷土芸能を支援する必要がある、団体同士の横のつながりを共有する郷土芸能フォーラムを開催する。

しずか) 令和6年の渋沢栄一翁の一万円札発行時に、血洗島で「ささら獅子舞」の発表会を提案しました。



11. ナラ枯れ対策の強化と、予算を拡大できないか?

大野知事) 県立狭山自然公園や航空公園のナラ枯れは、カエンタケの発生や倒木の恐れがあり、処理方法も含め市と連携しながら対策を加速させていく。

しずか) 全国で急速に拡大しているナラ枯れは、狭山自然公園でも400本以上確認されています。ナラ枯れ周辺に発生する猛毒キノコ「カエンタケ」は、誤って食べると死に至るおそれがあります。発見したらすぐにご連絡ください!!



15. 通学路でもある山口地区の高橋交差点の安全対策をできないか?

県土整備部長) 県道の高橋交差点を、直角交差に近い形に区画線を引き直すとともに、歩行者の安全なたまり空間を確保するために、ガードレール等を設置する。

しずか) 西武ドームに行く途中の高橋交差点は、交差的なカーブとなっており、子どもたちのたまり場もなく危険です。工事計画を進めている川越県土整備事務所に感謝しています。

4. 高齢者講習の実施場所を増やせないか?

警察本部長) 令和6年にさいたま市に高齢者講習施設を新設する。できるだけ近くで講習が受けられるように高齢運転者の利便性に配慮する。

しずか) さいたま市では遠いので、西部地区にも設置するように求めました。



8. 女性のがん対策(HPVワクチン接種)を強化すべきでは?

福祉部長) 一時的に積極的な勧奨を控えていたHPVワクチンについては、対象者に効果とリスクをわかりやすく説明し普及啓発に努める。相談窓口や医療機関の紹介等もしていく。

しずか) H9年~17年に生まれた女性が対象となりますので、ご相談ください。

12. 多摩都市モノレールと大江戸線の所沢市までの延伸の進捗状況は?

大野知事) 多摩モノについては、延伸ルートの絞り込みに向けて、関係市との調査結果の共有、移設が難しい建築物の回避方法等の今後の調査の説明・意見交換会等を行っている。大江戸線については、沿線アンケートを実施し、事業性・採算性を算定している。

しずか) 昨年は知事を小手指公民館にお迎えし、現地視察と小手指公民館での地元との意見交換会を行いました。今後は、住民運動をしていきます。



16. 県道所沢青梅線の狭山湖入口交差点・北野天神交差点の拡幅できないか?

県土整備部長) 令和3年には、三ヶ島農協交差点を整備した。狭山湖入口と北野天神交差点については、現地測量及び設計を実施し、地元への説明会を予定している。

しずか) 地権者の方にきちんとご説明させていただき、丁寧に進めていきます。

岡田しずかの活動写真館



編集後記 若者の声を届けたいと、29歳の時に1人で自転車に乗って挑戦した市議会議員選挙から早20年。気づいたらベテラン議員と言われるようになりました。初心を忘れず、いつまでもフレッシュな気持ちで頑張りたいと思います。

岡田しずかのSNS

最新情報はこちらをご覧ください。

ご意見はこちらへメール

okdashizuka412@yahoo.co.jp



HP (ホームページ)



Twitter (ツイッター)



Facebook (フェイスブック)



Instagram (インスタグラム)

埼玉県議会議員

県議会レポート vol.22 <2023.3> (討議資料)

岡田しずか

発行元/埼玉県議会議員 岡田静佳 政務活動事務所
〒359-1141 所沢市小手指町1-30-20-202 TEL/FAX 04-2921-7533

中央大学法学部卒業、所沢市議会議員12年、産業企業労働委員長、コロナ対策特別委員、少子・高齢福祉社会対策特別副委員長、都市計画審議会委員、自由民主党県議団青年局女性部長



3月議会が閉会し、4年間の任期が終わりました。激動の4年間でしたが、しずかにして、毎議会がガンガン発言しました。引き続き、来期も頑張らせて頂きたいと思っております。

埼玉県議会議員 岡田しずか

岡田しずかの4年間の主な役職

令和元年度

- ◎警察危機管理防災委員長
- ◎地方創生・行財政改革特別副委員長
- ◎予算特別委員
- ◎自民党県議団政務調査会副部会長・青年局婚活副部長

令和3年度

- ◎福祉保健医療委員長
- ◎危機管理・大規模災害対策特別委員
- ◎議会運営委員会委員
- ◎新型コロナウイルス感染症対策特別委員
- ◎予算特別委員
- ◎埼玉県国民健康保険運営協議会委員
- ◎埼玉県児童福祉審議会委員
- ◎埼玉県青少年健全育成審議会委員
- ◎埼玉県赤十字施設経営審議会委員
- ◎自民党県議団総務副会長・政務調査会副部会長・青年局女性部長

埼玉県議会議員連盟

- ◎西武ライオンズ議員後援会事務局長
- ◎西武鉄道路線活性化議員連盟事務局長
- ◎地下鉄12号線・多摩都市モノレール延伸促進議員連盟事務局長

令和2年度

- ◎総務県民生活副委員長
- ◎少子・高齢福祉社会対策特別委員
- ◎新型コロナウイルス感染症対策特別委員
- ◎決算特別委員
- ◎埼玉県スポーツ推進審議会委員
- ◎埼玉県都市計画審議会委員
- ◎自民党県議団幹事・青年局女性部長

令和4年度

- ◎産業労働企業委員長
- ◎少子・高齢福祉社会対策特別副委員長
- ◎新型コロナウイルス感染症対策特別委員
- ◎予算特別委員
- ◎埼玉県信用保証協会理事
- ◎埼玉県都市計画審議会委員
- ◎埼玉県職業能力開発審議会委員
- ◎自民党県議団政務調査会委員・青年局女性部長

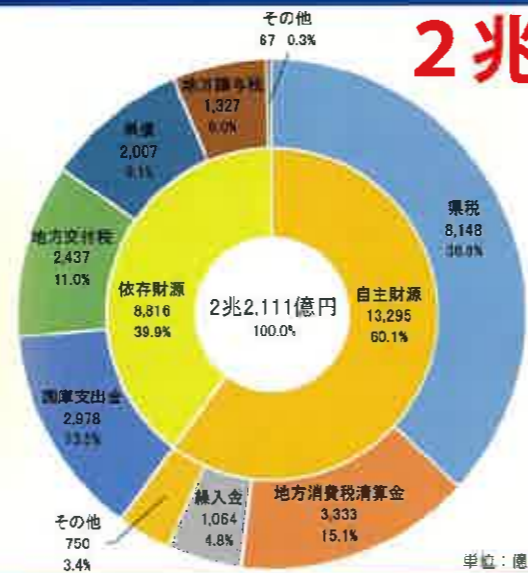
コロナ対策に追われた3年間でした!
所沢保健所の復活を!!

令和5年度埼玉県の主な予算

歳入

- 県税収入は、個人県民税や法人二税など8,148億円を計上
- 国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金など2,978億円を計上
- 県債は、臨時財政対策債など2,007億円を計上

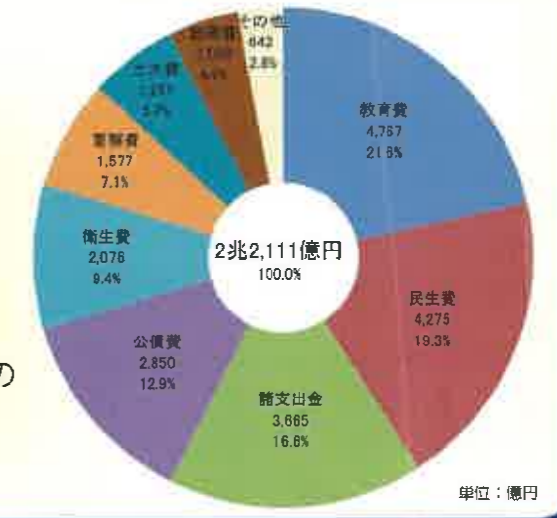
※法人二税～法人事業税・法人県民税



2兆2,111億円

歳出

- 教育費は、教職員給与費や特別支援学校の建設費など4,767億円を計上
- 民生費は、市町村が行う介護給付や保育所等の運営費への負担金、新たな児童相談所の整備など4,275億円を計上
- 諸支出金は、県税収入に伴う市町村への交付金や、他会計への支出金など3,665億円を計上



令和5年度所沢市に付いた主な予算

- ① 飯能所沢線(第4工区)の委託
- ② 飯能所沢線(第3工区)の委託・用地・補償
- ③ 狭山湖入口交差点の委託・用地・補償
- ④ 坂之下デ-リ-ヤマザキ前の水路のふたかけ
- ⑤ 狭山湖入口交差点の交通安全施設整備
- ⑥ 坂之下の通学路整備
- ⑦ 坂之下デ-リ-ヤマザキ前の歩道整備
- ⑧ 国道463号(松郷交差点)委託・工事
- ⑨ 西所沢駅踏切付近の歩道整備
- ⑩ 有楽町歩道橋・北有楽町歩道橋の塗装の塗り替え
- ⑪ 国道463号(新郷)の自転車レーンの整備
- ⑫ 銀座商店街の電線地中化の委託
- ⑬ 小手指台の冠水対策
- ⑭ 国道463号外の防草対策工事
- ⑮ 御幸町の電線地中化の委託
- ⑯ 上山口の高橋交差点の整備
- ⑰ 坂之下の舗装修繕
- ⑱ 山口の舗装修繕
- ⑲ 中富南の舗装修繕
- ⑳ 坂之下の舗装修繕
- ㉑ 上安松の舗装修繕
- ㉒ 山口の舗装修繕
- ㉓ 上山口の舗装修繕
- ㉔ 岩岡町の舗装修繕
- ㉕ 東所沢和田の舗装修繕



- ㉖ 東川 上流の測量設計
- ㉗ 柳瀬川 清流橋の委託・拡幅
- ㉘ 東川 北野の工事
- ㉙ 柳瀬川 城のカゴマット修繕
- ㉚ 柳瀬川 上安松の護床工事
- ㉛ 東川 坂之下の柳瀬川との合流地点の整備
- ㉜ 東川 川の再生推進費

⑭管内全域



歩行者・自転車に優しいまちづくりを進めます!

航空公園にスケボーパークの設置を!!

彩の国
さいたま



東京オリンピックでは、日本人スケートボード選手が金メダル3個・銀1個・銅1個を取り、スケボー人気が高まっています。一方で、利用できる場所が少ないため、禁止エリアや道路での利用や、騒音が問題になっています。

岡田しずかは、航空公園の小噴水広場の跡地を利用したスケートボードパークの設置を県議会で提案しています。令和4年10月にアンケートを実施し、令和5年の2月にサウンディング調査(事業に関心を持つ民間事業者やNPO法人等との個別対話)等を実施しました。

現在、Park-PFI(公募設置管理制度)等の民間の活用方法を調査・研究しています。また、アンケートでは、マナーやルールの徹底、近くのドックランへの影響等を、心配されている声もありましたので、ドックランの再整備等を含め検討していきます。

市民文化フェアが終了

航空発祥75周年の1986年に、「航空発祥の地である航空公園に市民が集う文化の祭典」として、開催されましたが、38回目の今年で終了となりました。岡田しずかも実行委員会や、所沢青年会議所のメンバーとして関わってきたこともあるので、とても残念です。

県に航空発祥の地であること内外にPRできるイベントを開催するように、要望しています。



物価高

原油価格・物価高騰等に関連する支援制度
(5月臨時議会)

- 生活者に対する緊急支援 41億円
- 事業者に対する緊急支援 115億円
- 経営体質の転換支援 22億円

相談窓口/県民生活部消費生活課
総務・企画調整担当 電話/048-830-2935



編集後記

4月9日の県議選、23日の市議選、5月24日の正副県議長選挙とバタバタでしたが、多くの皆様に支えて頂きました。感謝の気持ちでいっぱいです!! そして、8月には知事選、10月には市長選、衆議院選挙は?と、選挙ばかりで、大変です。しかし、選挙は民意を反映させる良いチャンスです。

所沢市議会の定数は33人ですが、新人が11人当選しました。女性も10人に増えました。岡田しずかも市議会のOGとして市民の声をしっかりと吸い上げ、実現する市議会になってほしいと願い応援しています。

岡田しずかのSNS

最新情報はこちらをご覧ください。

ご意見はこちらへメール

okadashizuka412@yahoo.co.jp



HP
(ホームページ)



Twitter
(ツイッター)



Facebook
(フェイスブック)



Instagram
(インスタグラム)

埼玉県議会副議長 県議会レポート vol.23 <2023.7> (討議資料)

岡田しずか

発行元/埼玉県議会議員 岡田静佳 政務活動事務所
〒359-1141 所沢市小手指町1-30-20-202 TEL/FAX 04-2921-7533

中央大学法学部卒業、所沢市議会議員12年、警察危機管理防災委員、自由民主党県議連青年局女性部長

しずかは
静かにしていません!



4月9日の埼玉県議会議員選挙で33,663票(埼玉県歴代最多得票数)を賜り、当選させて頂きました。感謝の気持ちでいっぱいです。

おかげさまで、5月24日の臨時議会で、副議長に就任させて頂きました。女性の副議長は初めてです。皆さまから頂きましたご付託にしっかりとお応えできるように、所沢と女性が埼玉県で注目され、活性化・活躍できるように全力で頑張ります!

岡田しずか

第130代埼玉県議会副議長

岡田しずか県議会報告会

日時: 令和5年7月21日(金)
18時(開場: 17時)

場所: 所沢市民文化センターミュージズ
中ホール(所沢市並木1-9-1)

来賓: 大野元裕県知事
立石泰広県議会議員
柴山昌彦衆議院議員
藤本正人市長
首長、国・県・市議多数



入場無料です。裏面にご記入の上、切り取り、会場にお持ちください。
是非、お誘いあわせの上お越しくださいますようお願い申し上げます。

埼玉県議会の歴代議長・副議長(所沢市)

- 昭和 19年 鈴木孫三郎議長(第47代)
- 昭和 36年 斎藤徳次郎議長(第62代)
- 昭和 57年 本橋俊男副議長(第83代)
- 平成 9年 大石忠之副議長(第99代)
- 令和 5年 岡田静佳副議長(第130代)



明治12年～現在まで、所沢市選出の正副議長はたったの5人です。人口の割合からすると少ないです。
高崎線中心の埼玉県の人事や政策予算を西武路線に向くよう頑張ります。

副議長就任の議場あいさつ

このたび議員の皆様のご御推挙により、副議長という要職に就かせていただきました岡田 静佳でございます。大変な名誉であるとともに、本県議会初の女性副議長としてその重責に身の引き締まる思いです。

経済活動の停滞が懸念される中でも生産性の向上に向けた取組や、今後の社会保障制度のあり方も見据えた少子化対策などをより一層推進することが求められています。

さらに、県民生活に大きな影響を与えているエネルギー価格や物価高騰、女性の活躍と男女共同参画の推進など、多くの課題に対して、政策形成機能を強化していかねばなりません。

二元代表制の一翼を担う我々県議会が、県民の皆様のご選挙により御負託いただいた議員をもって組織されるという位置づけを常に忘れず、議員全員で知恵を出し合い、議論を尽くしていく必要があります。

私も、人格識見ともに卓越した立石議長のもと、公正かつ円滑な議会運営に努め、県政の更なる発展のために、女性としての視点を大切に全力を尽くす決意でございます。議員の皆様並びに大野知事をはじめ執行部の皆様には、格別の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。副議長就任のあいさつとさせていただきます。

キリトリ線

岡田しずか県議会報告会 入場整理券
7月21日(金) 18時(ミューズ中ホール)

お名前:

ご住所:

Tel :

メール
アドレス:

お名前:

ご住所:

Tel :

メール
アドレス:



キリトリ線

当日受付にお出ください。

お持ちでない方は、会場でお書き下さいますようお願い致します。(コピー可)

会派構成と女性議員

会派構成	93人	15人(女性)
自民党	58人	3人
民主フォーラム	12人	3人
公明党	9人	1人
県民議会	7人	2人
共産党	3人	3人
改革の	1人	—
維新	1人	1人
無所属	2人	2人

※女性の正副議長は、今まで1人もいませんでした。
議会女性が活躍できるように、先頭に立って頑張ります!



新聞に載りました

読売新聞

県議会議長に自民 立石氏
岡田氏、初の女性副議長

埼玉県議会が23日開会した。議長に自民党の立石泰広氏が、副議長に岡田静佳氏がそれぞれ選出された。岡田氏は初の女性副議長となった。

日経新聞

投票率向上へ情報発信
県議会、正・副議長が抱負

埼玉県議会が23日開会した。議長に立石泰広氏が、副議長に岡田静佳氏がそれぞれ選出された。岡田氏は初の女性副議長となった。

毎日新聞

県議会初の女性副議長
岡田氏「自身の経験、改革に」

埼玉県議会が23日開会した。議長に立石泰広氏が、副議長に岡田静佳氏がそれぞれ選出された。岡田氏は初の女性副議長となった。

朝日新聞

県議会議長に立石氏
初の女性副議長誕生

埼玉県議会が23日開会した。議長に立石泰広氏が、副議長に岡田静佳氏がそれぞれ選出された。岡田氏は初の女性副議長となった。

東京新聞

新議長に立石氏
初の女性副議長誕生

埼玉県議会が23日開会した。議長に立石泰広氏が、副議長に岡田静佳氏がそれぞれ選出された。岡田氏は初の女性副議長となった。

産経新聞

県議会議長に立石氏
初の女性副議長誕生

埼玉県議会が23日開会した。議長に立石泰広氏が、副議長に岡田静佳氏がそれぞれ選出された。岡田氏は初の女性副議長となった。

空フェス～所沢・航空発祥の地

4月7日(日)10～15時 所沢航空記念公園

nicoフェスさん、埼玉県造園業協会さんと一緒にワークショップや飲食の出店。アジサイ関連お祭りのイベントを開催!!



所沢航空記念公園は、日本初の飛行場として所沢飛行場が開設された場所です。

1911年(明治44年)4月5日に徳川好敏大尉の操縦するアンリ・ファルマン機が初飛行に成功した日として4月第1土・日に所沢市民文化フェアが開催されていました。しかしながら昨年で文化フェアが終了したため、埼玉県が航空発祥の地であることを記念した「空フェス」を開催することにいたしました。

1日の開催となりますが、熱気球の搭乗体験や大型映像館で航空映画の上映、航空史跡のスタンプラリー等の盛りだくさんのイベントを頑張り所沢を盛り上げていきたいと考えています。ぜひ、遊びにいらしてください!!



まちづくり

○北秋津上安松地区の商業施設『SOCOLA 所沢』

～令和6年4月25日オープン(所沢駅 東口徒歩11分)
敷地面積 約18,000㎡ 延床面積 約9,800㎡(店舗面積)
店舗数 12店舗 地上2階 駐車台数 311台

○所沢駅西口 商業施設(車両工場跡地)

～令和6年秋オープン
敷地面積 約34,000㎡ 延床面積 約129,000㎡内店舗面積 約43,000㎡
店舗数 150店舗 地上7階 駐車場 約1,700台

○小手指駅北口(旧西友跡地)～令和8年予定

三菱商事商業施設
1階 西友900坪、2階店舗900坪、3階駐車場190台
タワーマンション1棟 500世帯予定(長谷エコーポレーション)

○新所沢駅西口 パルコ～未定

パルコを中心に所沢市も含む10の地権者で将来計画検討会で協議中。
所沢市は商業施設の設置を要望中。



私の買い物回数が一番多かった店は小手指西友、映画が一番たくさん見たのは新所沢パルコでした。

閉店の時は涙が出ました。しかしながら新しく生まれ変わるのを、県の立場で交通対策なども含めてしっかりと協力していきたいと考えています。



編集後記

いつもチョロチョロしていた息子は、私より大きくなり中学を卒業し、春から高校生になります。月日の経つのは本当に早い! 光陰矢の如し。一日一日を大切にしながら、いつもバタバタの毎日です。

岡田しずかのSNS

最新情報はこちらをご覧ください。



HP
(ホームページ)



Twitter
(ツイッター)



Facebook
(フェイスブック)



Instagram
(インスタグラム)

ご意見はこちらへメール

okadashizuka412@yahoo.co.jp

埼玉県議会副議長 県議会レポート vol.24 <2024.3> (討議資料)

岡田しずか

発行元/埼玉県議会議員 岡田静佳 政務活動事務所
〒359-1141 所沢市小手指町1-30-20-202 TEL/FAX 04-2921-7533

中央大学法学部卒業、所沢市議会議員12年、警察危機管理防災委員、自由民主党県議団青年局女性部長



しずかは
静かにしていません!

能登半島地震により犠牲となられた方々の御冥福をお祈りすると共に、被災された全ての皆様に心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧・復興に向け、埼玉県はできる限りの支援に努めて参ります。

埼玉県議会副議長 岡田しずか

女性活躍

2/5～6 全国女性都道府県議会議員の会 in 埼玉



ようこそ 世界農業遺産・武蔵野地域(三芳町)へ
女性都道府県議会議員の会 様

- 所沢市のダウンゴ学園 N高・S高校(インターネットと通信教育を活用した2.7万人が学ぶ高校)の視察
- 三芳町の世界農業遺産 武蔵野の落ち葉堆肥農法
- 川越市のスマホを使ったふるさと納税電子商品券政策
- 埼玉県議会のヤングケアラー支援条例



全国から女性県議が埼玉に集まり、2日間の研修会を開催しました。大雪で大変でしたが、埼玉県の皆様にご協力いただき、中身の濃い充実した研修となり、活発な意見交換ができました。

12/1、1/26、2/22 全国都道府県議会議長会～多様な人材が輝く議会のための懇談会～

女性・若者・勤労者等が活躍しやすい議会の実現に向けた意見交換会の10人のメンバーに選ばれ活動しています。29歳で市議になり子育て経験も活かし、多様な人材が議員になりやすい環境づくりに尽くして参ります。



2/13「男女共同参画推進議員連盟」の幹事長に就任

埼玉県議会に議連が設置され、幹事長に就任しました。性別役割分業意識の見直しや、男性の育休・介護休暇の推進等もしていきたいと考えています。



親子傍聴室の設置

(毎日新聞 9月23日 記事)



子育て中の細田善則議員連委員長(戸田市)と共に、赤ちゃんチェア・ベット・遊び場を設置

親子傍聴室は、議事堂内のベヒーヘッドを備えた「親子傍聴室(仮称)」を設置し、12月定例会から運用を始める。岡田静佳副議長が提案

議事堂4階には2020年2月に設置した、県議が授乳やおむつ替えに使える部屋がある。この部屋も傍聴者が使えるようにする。

議事堂内、22日開かれた各会派の代表者会議で了承された。同日開会した9月定例会中の議会運営委員会でも協議し、県議会傍聴規則を改正する見渡せて、議事が聞

こえるという。大人用の椅子とベヒーヘッド、幼児が遊べるようにマットを敷いたキッズコーナーを設ける。議事堂4階には2020年2月に設置した、県議が授乳やおむつ替えに使える部屋がある。この部屋も傍聴者が使えるようにする。

親子傍聴室は、議事堂4階にあるテレビ中継室の1室を改装。ガラス窓から議事堂内を見渡せて、議事が聞

県議会、12月定例会から

「親子傍聴室」を設置へ

女性休養室の設置

県議会の休養室は、男女共同で女性が使いづらかったため、専用の休養室を作りました。

体調不良時や、着替えの時に有効活用させていただいております。(女性県議は93人の内15人に増えました)



虐待禁止

9月議会の虐待禁止条例の改正案の取り下げでは、県民の皆様にご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

令和4年度の埼玉県内の児童相談所における児童虐待相談対応件数は、18,877件で、令和3年度(17,606件)に比べて、1,271件増(+7.2%)となりました。60%が心理的虐待です。子どもの成長にも著しい妨げとなっている為、子どもを守るために条例改正案を提出しました。

しかしながら保健福祉常任委員会の質疑答弁の中で「ゴミ捨てに子どもを家に置いていくのも虐待」「子どもだけで公園で遊んでいたら通報」等と、提案者が本来の趣旨と違う答弁をしたため、マスコミにも取り上げられ多くの県民の皆様にご迷惑をおかけしてしまいました。本会議の採決前に取り下げ、今後この条例は提出しないことを決定し、条例の提案の仕方やパブリックコメントのあり方等の検討会を開催し見直しました。力不足でご迷惑をおかけしましたが、母親目線の意見が通るように頑張っていきます。



☆ 埼玉県議会初の女性副議長として、「女性活躍」を強力に推進しています。

☆ 埼玉県議会の傍聴を希望される方は、ご連絡ください。ご案内させていただきます。

能登半島地震に対する県の対応について

(1) 埼玉県の対応

- 1月1日 情報連絡室を設置
- 1月3日 県防災航空隊が被災地に向け出動(1月5日に帰投し、現在待機中)
- 1月5日 災害即応室を設置(被災地支援のため)



防災ヘリコプター

(2) 人的支援

総務省、全国知事会等により構成される「応援職員確保調整本部」が設置。調整の結果、石川県七尾市に対し、名古屋市、京都府、京都市、さいたま市、埼玉県が支援することが決定。

【職員派遣の状況】

石川県七尾市の避難所運営支援のため、のべ147人(県職員56人、市町村職員91人)を派遣。

区分	派遣日	派遣人数
先遣隊	1月6日～7日	県職員2名
第1班	1月8日～16日	県職員4名(先遣隊2名含む)、市町村職員7名
第2～4班	1月15日～2月5日(各1週間)	県職員10名、市町村職員10名
第5～6班	2月5日～2月19日	県職員6名、市町村職員14名
第7班	2月19日～2月26日	県職員5名、市町村職員14名
第8班	2月26日～3月4日	県職員5名、市町村職員12名

- 各部局の対応
- 福祉：埼玉県災害派遣精神医療チーム(DPAT)の派遣
 - 保健医療部：災害派遣医療チーム(DMAT)の派遣、保健師等職員の派遣
 - 都市整備部：被災建築物応急危険度判定士の派遣、公営住宅の提供
 - 企業局：給水車及び職員の派遣
 - 教育局：教職員の派遣

(3) 物資支援状況一覧 一般社団法人埼玉県トラック協会の協力により、被災地に物資を提供

到着日	運搬先	支援内容
1月7日	志賀町	コーンウェイト(三角コーンの重し)100個
1月11日	七尾市	段ボールベッド30個、仮設トイレ2台等
1月20日	金沢市	ブルーシート2,000枚



新座防災基地を出発する車両



七尾市内の避難所に段ボールベッド、仮設トイレを設置



(3) 義援金の募集～

日本赤十字社を通して、被災地へ分配。埼玉りそな・武蔵野銀行に口座振込。税制上の優遇措置もあるのでご協力いただける方はご連絡ください。
(埼玉県災害対策担当048-830-8181)

1月5日(県議団・浦和駅)

1月14日(所沢駅)で自民党の募金活動を実施。

460,629円を日本赤十字社を通じてお届けさせていただきました。ご協力いただきました方に心より感謝申し上げます。

また立石議長の提案で全県議会議員から寄付を集めて100万円を被災地の議会にお見舞金として送らせていただきました。





埼玉県議会議員

岡地まさる 県政報告

信頼と責任

2023年 春号

岡地まさる県政事務所

桶川事務所

桶川市上日出谷42-73

TEL.048(780)2982

FAX.048(780)2983

発行 埼玉県議会自由民主党議員団

県議会2月定例会

皆様の声を県政に活かし持続可能な発展を!!

令和5年度一般会計

超大型予算 2兆2,110億9,500万円を計上

県議会2月定例会(2月20日開会~3月17日閉会)は、令和5年度一般会計当初予算(案)2兆2,110億9,500万円の計上について審議しました。

私たち自民党県議団は昨年秋、ポストコロナを見据え地域経済の活性化に全力で取り組むべきと政策大綱にまとめ、大野知事に要望してきました。令和5年度当初予算は、私たちの主張がある程度反映された内容となりました。

長引くコロナ禍に加え、昨年からのロシアによるウクライナ侵攻や円安などによる原油価格・物価高騰は、私たち県民の生活に少しずつ影響をもたらしています。

当初予算は「ポストコロナ元年」を理念として、DX(デジタルトランスフォーメーション)のさらなる推進や中小企業の事業再構築に対する支援強化などが盛り込まれ、課題の解決や経済施策を進め、県の持続可能な発展につなげていく施策となっています。



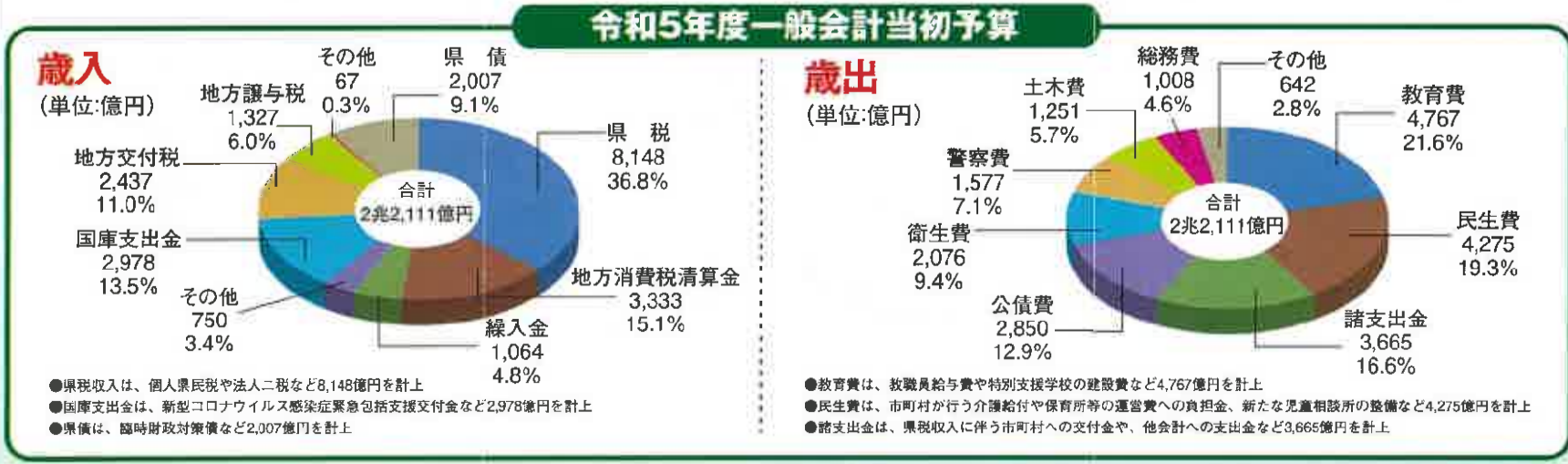
大野知事と共に 県政に全力!!

パーキング・パーミット制度の導入に合わせ

自民党県議団が条例の改正を提案

私たち自民党県議団はパーキングパーミット制度の本県での導入に向け、昨年の秋からプロジェクトチームを立ち上げて審議を進め、2月定例会において「埼玉県福祉のまちづくり条例の一部改正」を提案しました。条例では、制度の主旨を県民に分かりやすく告知することをはじめ、実行力のある取り組みを県や事業者等に求めています。

※パーキングパーミット制度とは、公共施設や商業施設などに設置されている車いすのマークが書かれている障害者等用駐車区画の利用対象者を、障害者、介護が必要な高齢者、妊産婦など一定の方に限定し、自治体が発行する利用証を交付することで適正利用を図る制度です。



拉致被害者の方々の一日も早い帰国の実現に向け、皆さまのご支援を!!

桶川市内の主なインフラ事業 《県土整備部》

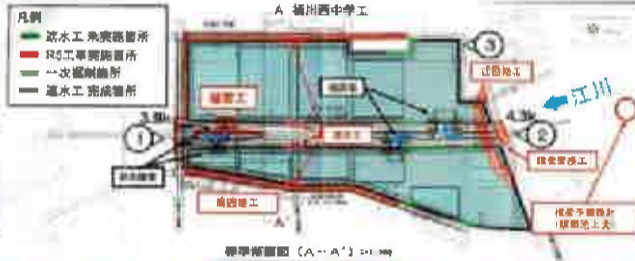
令和5年度当初予算

路線名等	事業名等	事業概要
① 駅東口通り線	街路改良事業	L=278m、W=6.0(20.0)m
② 駅東口通り線	街路整備	L=278m、W=6.0(20.0)m
③ 蓮田鴻巣線(加納)	交通安全施設整備	L=600m、W=6.0(12.0)m
④ 蓮田鴻巣線(加納)	自転車歩行者道整備	L=600m、W=6.0(12.0)m
⑤ 太郎右衛門橋(川越栗橋線) 橋りょう修繕	橋りょう修繕	支承修繕
⑥ べにばな陸橋(川越栗橋線) 橋りょう修繕	橋りょう修繕	橋脚補強、落橋防止
⑦ 太郎右衛門橋(川越栗橋線) 橋りょう補修事業	橋りょう補修	支承修繕
⑧ 川越栗橋線(川田谷)	道路環境整備	防草対策工(L=1200m)
⑨ 蓮田鴻巣線(小針領家)	舗装道整備	舗装修繕(W=7m、L=200m)
⑩ 川越栗橋線(下日出谷)	舗装道整備	舗装修繕(W=7.5m、L=200m)
⑪ 川越栗橋線(川田谷)	舗装道整備	舗装修繕(W=7.8m、L=250m)
⑫ 江川	河川改修	測量設計、調節池整備工、橋梁架換工



令和4年度2月分補正予算 (国の補正対応分)

路線名等	事業名等	事業概要
補1 蓮田鴻巣線	道路構造物維持事業	通学路安全対策(L=500m)
補2 江川	社会資本整備総合交付金(河川)事業	調節池整備工、橋梁架換工



地域と県政の架け橋として邁進!!

オケちゃん駅伝競走大会開催

第9回オケちゃん駅伝競走大会が2月12日、素晴らしいお天気のもと桶川城山公園ジョギングコースを利用して3年ぶりに開催されました。33チームが6部に分かれ、低学年は960m、高学年は1,380mで競い合いました。



本学院節分祭開催

地元本学院の節分祭が2月3日に開催されました。今年はコロナ禍とあって豆まきは行わず、袋にお菓子を入れ子どもさん達に福を分けました。皆様方の健康、家族が一年健康に過ごすことができるように願い、また、コロナ感染症が一日も早く終息することを願い終了しました。



江川改修促進協議会現場視察

江川調整池の遮水工現場を1月26日、江川改修促進協議会で視察しました。現在は調整池に水が流入するのを防ぐため、水を通さない層(不透水層)まで遮水矢板を打ち込んでいます。今後は、江川にかかる橋の建設、水道管の移設等の工事が予定されています。



拉致被害者救出署名活動に参加

北朝鮮による拉致被害者救出のための街頭署名活動が12月11日、浦和駅西口駅前で行われました。大野知事をはじめ清水さいたま市長、国会議員、県会議員、市議会議員の皆様も駆けつけられました。全員救出まで「あきらめない」との思いを馳せながら活動してまいります。



憲法・人権市民の集い開催

第49回憲法・人権市民の集いが12月3日、さいたま文学館文学ホールにて開催されました。人権作文の朗読、表彰式の後、第2部ではドキュメンタリー映画、「ぼけますから、よろしくお祈りします。」の上映がありました。



岡地まさる 県政事務所

〒363-0026 埼玉県桶川市上日出谷42-73
Tel. 048-780-2982 / Fax. 048-780-2983

ポスティング作業など、お手伝いいただける方を募集しています。詳しくは岡地まさる県政事務所へお問い合わせください。

埼玉県議会議員

岡地まさる

県政報告

信頼と責任

2023年 夏号

岡地まさる県政事務所
 桶川事務所
 桶川市上日出谷42-73
 TEL.048(780)2982
 FAX.048(780)2983

発行 埼玉県議会自由民主党議員団

皆さまの負託に応えるため 全力で働きます！

先の統一地方選挙を通じて、私たちは県民の皆さまから様々な「声」を頂いてまいりました。この「声」をしっかりと受け止め、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念に基づき、誰もが安心して豊かに暮らせる郷土・埼玉を築いていかなければと決意を新たにしています。

私が所属する県議会自民党議員団は総勢58名でスタートすることとなりました。県議会の過半数を占める最大会派として、その責任を重く感じているところです。また、私は今期、監査委員に就任するとともに、文教委員会及び危機管理・大規模災害対策特別委員会に所属することになりました。県議団の仲間と力を合わせ、県政の課題に全力で取り組んでまいります。

今後とも皆さまのより一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い致します。



役職 監査委員
 所属委員会 文教委員会／図書室委員会
 危機管理・大規模災害対策特別委員会

県議会5月臨時会・6月定例会報告

大型補正予算 約183億8千万円を議決

選挙後初となる県議会は5月23・24日に「5月臨時会」が開催され、第1号補正予算183億8,387万9千円の計上等を議決しました。また、6月19日からは「6月定例会」が開催され、「埼玉県税条例の一部を改正する条例」などを議決し7月7日に閉会しました。

5月臨時会で議決した第1号補正予算は、国の「物価高克服に向けた追加策」に対応した、エネルギー・食料品価格等の物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者への支援策です。その概要は次の通りとなります。

- ①物価高騰の影響を受ける生活者に対する緊急支援 (46億7,877万8千円)
- ②物価高騰の影響を受ける事業者に対する緊急支援 (115億4,191万1千円)
- ③物価高騰の影響を受けにくい経営体質への転換を促す支援 (21億6,319万円)

農業者等の免税軽油の利用環境改善へ

6月定例会で議決した「埼玉県税条例の一部を改正する条例」は、主に自動車税(環境性能割)と軽油引取税の改正です。

自動車税の改正は、地方税法の一部改正に伴い、環境性能が高い自動車の普及促進を図るため、税率を決める燃費基準を段階的に引き上げるためのものです。軽油引取税の改正は、原油価格の高騰を受け農業者等の税負担を軽減するとともに、県への報告制度を年1回に簡素化させることで、より免税軽油が利用しやすい環境となります。(詳細は下表を参照)

日本を元気にする 施策を提案してまいります

新型コロナウイルス感染症は5類への移行という一つの節目を迎えました。今後は感染の再拡大も念頭に置きつつ、地域経済の回復と持続的発展を強く押し進め、県民の皆さまが安心して生活できる環境整備を進めなければなりません。また、加速する少子高齢化、激甚化・頻発化する自然災害など、私たちが乗り越えなければならない課題は山積しております。

私たち自民党県議団は、埼玉から日本を元気にする施策を提案し続けてまいります。

埼玉県税条例の一部を改正する条例

条例の概要

概要

<自動車税(環境性能割)>

地方税法の一部改正に伴い、環境性能が高い自動車の普及促進を図るため、税率の基となる燃費基準の達成度合いを段階的に引き上げる。

<軽油引取税>

トラクターや掘削機など公道を走らない車両の軽油は、免税を受けることが可能。この免税軽油の利用者のうち農業者等について、軽油購入数量等の報告頻度を緩和する。

○緩和の内容(購入数量が年間3キロリットル以下の場合)

現行		→	改正案	
区分	報告頻度		区分	報告頻度
免税1年目	毎月	→	1年に一度	1年に一度
2年目以降	1年に一度			

軽油引取税の改正について

目的

原油価格の高騰を受け、農業者等の税負担を軽減するとともに、免税軽油を利用しやすい環境を整備する。

現状・課題

- ・軽油価格 令和5年5月 141.2円/ℓ (令和3年5月比+16.4円/ℓ)
- ・免税となった1年目は購入数量等が少量でも毎月報告が必要
 ▶ 繁忙期がある農業者等にとって事務負担が重い

県内の免税軽油使用者 農業従事者の約2%

改正による効果

<利用者にとって>

- ・免税による税負担の軽減
 1ℓにつき32.1円の軽減
- ・免税手続に必要な事務負担の軽減
 毎月から年1回の報告に軽減

地元・桶川市の発展目指し **東奔西走**

第26回桶川べに花まつり

第26回桶川べに花まつりが、6月17日、18日と桶川城山公園をメイン会場に開催されました。今年はちょうど満開の時期と重なり、生産組合の皆さんが丹精込



めたべに花を堪能することができました。ステージでの式典では、桶川市と山形県白鷹町との「紅花友好都市協定調印式」や「おけがわ魅力発信大使」の任命式が行われました。

日本ALS協会埼玉県支部総会

第22回日本ALS（筋委縮性側索硬化症）協会埼玉県支部総会が6月11日に、大宮ソニックシティ「国際会議室」にて開催されました。



ALS患者の療養環境は未だ多くの課題を抱えております。東京都立神経病院脳神経内科医長 木田耕太先生の講演は、ALS患者の現実を知ることができ、たいへん参考になりました。

社会保険労務士会通常総会

埼玉県社会保険労務士会通常総会が6月8日に、ホテルプリランテ武蔵野にて開催されました。3年ぶりに懇親会も開催され、新型コロナウイルス5類移行を受け、社会活動が活発化することは喜ばしいことだろうと感じております。油断せずに日常を過ごしていただきたいと思っております。



春の全国交通安全運動キャンペーン



春の全国交通安全運動（5月11日～20日）の実施に伴い、5月12日に桶川駅（東口、西口、東西連絡通路）でキャンペーン活動が行われました。今年の4月から道路交通法が改正され、自転車を利用する方のヘルメット着用が努力義務となりました。ご自身の命を守るため、ヘルメットの着用等を訴えさせて頂きました。

おけがわ春のふれあいフェスタ

おけがわ春のふれあいフェスタが5月14日に、桶川駅西口公園をメイン会場として開催されました。

開会式では子ども・子育て支援功労者関係、桶川市社会福祉協議会への寄付関係の団体に感謝状が手渡されました。また56団体が参加し、模擬店・売店だけでなく、アイマスクや車椅子等の体験ができ、ふれあいながら楽しめる催しが行われていました。



市スポーツ協会川田谷支部総会

桶川市スポーツ協会川田谷支部総会が4月3日に開催され、市長、議長とともに出席いたしました。

川田谷支部は60年続く朝のかけ足運動をはじめ、地域のスポーツ振興にご尽力されています。



モルック研修会

桶川市レクリエーション協会主催のモルック研修会が5月28日に、桶川西口公園にて開催されました。

モルックとは、プレーヤーが木製の棒（モルック）を投げて木製のピン（スキttl）を倒し、倒れた本数とそこに書かれた数字により得点を得る、新しい軽スポーツです。たいへん楽しませて頂きました。



下日出谷東区画整理組合竣工記念碑除幕式及び竣工記念式典

下日出谷東特定土地区画整理組合竣工記念碑除幕式及び竣工記念式典が3月25日に開催され、30年という長い間役員を務められた役員の方々に感謝状が手渡されました。

皆さまが丁寧に作り上げた街は、将来にわたり多くの地域住民の愛着心を育てていくことと思います。



岡地まさる 県政事務所

〒363-0026 埼玉県桶川市上日出谷42-73
Tel. 048-780-2982 / Fax. 048-780-2983

ポスティング作業など、お手伝いいただける方を募集しています。詳しくは岡地まさる県政事務所へお問い合わせください。

埼玉県議会議員

岡地まさる 県政報告

信頼と責任

2023年 秋号

岡地まさる県政事務所
 桶川事務所
 桶川市上日出谷42-73
 TEL.048(780)2982
 FAX.048(780)2983

発行 埼玉県議会自由民主党議員団

県議会9月定例会報告

補正予算【第2号】 **165億1,057万9千円**

コロナ支援継続・重要公共事業の追加・eスポーツ普及へ

県議会9月定例会は9月22日から10月13日にかけて開催され、一般会計補正予算【第2号】165億1,057万9千円の計上等を議決しました。

補正予算の主な内容は、高齢者・障害者施設等における新型コロナウイルス感染症対策の支援継続のための予算として69億4,946万6千円、重要な公共事業の追加予算として21億6,345万3千円、企業版ふるさと納税を活用したeスポーツの普及・裾野拡大のためのイベント開催に要する予算として1,062万9千円など、当面对応すべき事業に対する補正予算が盛り込まれました。



役職 監査委員
所属委員会 文教委員会/図書室委員会
危機管理・大規模災害対策特別委員会

公共事業の追加 / 企業版ふるさと納税を活用したeスポーツの普及・裾野拡大

公共事業の追加 21億6,345万3千円

公共事業の内定増に伴う追加工事の実施

- 道路・街路事業 21箇所
- 河川事業 13箇所
- 公園事業 1箇所 計 35箇所

例：越谷野田線（松伏町）

- 地盤改良工事
- 工事着手の前倒し
(令和6年4月予定→令和5年10月予定)

例：飯盛川（坂戸市）

- 排水機場整備工事、用地買収
- 工事着手の前倒し
(令和6年4月予定→令和5年10月予定)

熊谷スポーツ文化公園（熊谷市）

- 損傷の激しい駐車場舗装の改修を実施
- 工事着手の前倒し
(令和6年4月予定→令和5年10月予定)



企業版ふるさと納税を活用したeスポーツイベントの開催 1,062万9千円

概要

eスポーツの普及・裾野拡大に向け、その地域活性化など多彩な可能性を実証するため、2つのイベントを開催

(1) 普及イベント

- 対象：誰もが参加可能(参加無料)
- 内容：プロ選手エキシビジョンマッチ
・ビギナー向け体験会
・プロ選手との交流会 等



(2) トレーニングキャンプ

- 対象：高校生(公募25名程)
- 内容：プロチームによる指導(操作技術、戦術等)
・メンタル、食事等指導
・学校関係者、県内企業の見学受入れ 等



県全域で約59万人が参加し大成功!!

シェイクアウト埼玉へのご参加、ありがとうございました。

■実施日：令和5年9月1日 11時58分～ ■参加人数：594,476人

関東大震災から100年を契機に、県議会が中心となって県内一斉防災訓練を働きかけることで、県民をはじめ県内在勤・在学の方の「自助」「共助」の意識向上をめざし、シェイクアウト埼玉(埼玉県内一斉防災訓練)を実施させていただきました。多くの皆さまにご参加いただき、ありがとうございました。



拉致被害者の方々の一日も早い帰国の実現に向け、皆さまのご支援を!!

桶川市のさらなる発展に向け **東奔西走**

文教委員会

茨城県内の先進的事例を視察

8月28日・29日の2日間、文教委員会で茨城県内の県立IT未来高等学校(笠間市)と牛久シャトー(牛久市)を視察してきました。

茨城県立IT未来高等学校は既存の県立学校を改変し、全国初のIT専科公立高校として、今年4月に開校したばかり。コンピュータ機器をはじめ、VR機器、3Dプリンター、CG制作ソフトなど最先端技術を導入し、県内随一のICT環境を整備しています。話を伺っていて、教える側の意欲、教わる側の意欲を強く感じました。

牛久シャトーは明治36年に開設した日本初の本格的ワイン醸造場です。平成19年に「近代化産業遺産」に認定、平成20年には国の重要文化財に指定、令和2年に「日本遺産」に認定されるなど、近年、その歴史的価値の高さが広く認められています。文化資源の保存・活用に係る取り組みについて学ばせていただきました。



▲茨城県立IT未来高等学校校門にて

九都県市合同防災訓練に出席

第44回九都県市合同防災訓練が8月27日、志木市で開催され出席しました。新河岸川と柳瀬川に挟まれた市役所をメイン会場に、市役所南側のいろは親水公園等を第2会場として実施され、自衛隊による仮設橋の設置などこれまで見なかった訓練もあり、良かったと思いました。

今年は関東大震災から100年になります。皆さんの「我が家の防災」も考えておきましょう!



江川改修促進協議会が要望活動

江川改修促進協議会(会長:小野克典桶川市長)は8月22日、埼玉県に対し要望活動を実施を行い、地元選出県議として同席しました。

今後、市道1号線の橋の架け替え工事、水道管の敷設工事がございますが、一日も早い完成を願っております。

▲要望書を県土整備部長へ提出。関係4市の市長、市議会議長、県議会議員が出席しました。



江川改修促進協議会総会を開催

令和5年度江川改修促進協議会総会が7月10日に開催されました。議案及び県への要望書が承認された後、北本県土整備事務所より、今年度の工事予定、今後の予定等の説明がありました。



上尾道路建設 促進期成同盟会総会を開催

令和5年度上尾道路建設促進期成同盟会の総会が7月18日に開催されました。

上尾道路は圏央道桶川北本ICまで開通していますが、国道17号線は変わらず渋滞しており、北本市、鴻巣市を開通させないと渋滞は緩和されないと考えます。一日も早い開通のため、全力で取り組んでまいります。



第二産業道路建設 促進期成同盟会総会を開催

令和5年度第二産業道路建設促進期成同盟会の総会が8月18日に開催されました。

今年は、県道上尾環状線から県道上尾運田線に至る0.9kmについて順調に工事が進められており、喜ばしいことと思っております。しかし、桶川に到達するにはまだ時間を要するため、早く完成するようしっかり取り組んでまいります。



ジャンボスイカ受賞者が知事を表敬訪問

桶川ジャンボスイカコンテストで県知事賞授賞の小島元夫さん、県議会議長賞授賞の坂巻清さんらが、大野元裕知事、岡田副議長を表敬訪問され、地元選出県議として同席させていただきました。



桶川ジャンボスイカコンテストは8月19日・20日に、桶川べにばなふる里館で開催されました。優勝は56.48キロの小島元夫さん、2位は56.11キロの農村充さんでした。今年は私も37.61キロのジャンボスイカを出品し、10位のJR東日本熊谷統括センター上尾駅長賞を受賞しました。



大野知事は「夏の便りを桶川からお持ちいただきありがたい。来年、再来年と素晴らしいスイカで地元PRに努めていただきたい」と話しておられました。

珍しい! リュウゼツランが開花

▲桶川市北1丁目にお住まいの白田正行さん(92歳)宅で、数十年に一度しか咲かないという多肉植物リュウゼツランが開花しました。白田さんの奥様が、結婚した際に持参し庭に植えたものだそうです。



岡地まさる 県政事務所

〒363-0026 埼玉県桶川市上日出谷42-73
Tel. 048-780-2982 / Fax. 048-780-2983

ポスティング作業など、お手伝いいただける方を募集しています。詳しくは岡地まさる県政事務所へお問い合わせください。



埼玉県議会議員

岡地まさる 県政報告

信頼と責任

2024年 新春号

岡地まさる県政事務所
桶川事務所
桶川市上日出谷42-73
TEL.048(780)2982
FAX.048(780)2983

発行 埼玉県議会自由民主党議員団

県議会12月定例会報告

物価高への緊急支援に約115億円 猛暑被害の農家支援に約1億円を議決

県議会12月定例会は12月4日から22日の日程で開催され、一般会計補正予算【第3号】9,688万1千円、【第4号】18億1,140万4千円、【第5号】114億9,715万2千円等を議決しました。

補正予算【第3号】は、令和5年夏の猛暑による水稻、大豆の高温障害を受け、次期作付けにかかる種苗や肥料購入経費を補助するための予算、補正予算【第4号】は、職員給与の改定等に伴う予算が主な内容となっています。

補正予算【第5号】は、物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者を支援するための、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づくものです。これまで県が進めてきた福祉・医療施設等への光熱費等の支援やLPガスを使う一般家庭への支援等に加え、トラック運送事業者に対する燃料費の支援、県産農産物販売促進キャンペーンを通じた農業者支援及び家計負担軽減策、一人親家庭の子供の進学等への支援等が新たに盛り込まれました。



役職 監査委員
所属委員会 文教委員会/図書室委員会
危機管理・大規模災害対策特別委員会

一般会計 補正予算【第3号】 9,688万1千円	*高温などによる水稻及び大豆の被害への対応(9,676万5千円)など。
一般会計 補正予算【第4号】 18億1,140万4千円	*人事委員会勧告及び報告を踏まえた職員給与の改定等に伴う給与費のため。
一般会計 補正予算【第5号】 114億9,715万2千円	*価格等の物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者を支援するため、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づく補正予算を活用した予算。

《一般会計 補正後累計 2兆2,593億9,489万5千円》

補正予算【第5号】の主な内容

- (1) 物価高騰の影響を受ける生活者・事業者に対する緊急支援
- ① LPガスを使用する一般消費者等に対する支援…………… **31億8,743万7千円**
LPガス料金の高騰による一般消費者等の負担を軽減するため、販売事業者を通じ、価格高騰の影響分の一部を補助する。<繰越明許費の設定>
 - ② **新** 子供の進学等への支援…………… **1,171万5千円**
経済的課題を抱えるひとり親家庭等の子育て世帯について、子供の進学に向けたチャレンジを後押しするため、大学等の受験料や中学・高校3年生の模試費用などの支援を行う市町村に対して補助する。
 - ③ 福祉施設、医療施設等に対する支援…………… **36億148万4千円**
光熱費等の高騰の影響を緩和するため、高齢者施設、障害者施設、児童養護施設、保育所、病院、一般診療所、分娩取扱助産所、施術所、私立学校、卸売市場、園芸施設等に対し補助する。
 - ④ **新** トラック運送事業者に対する支援…………… **23億2,800万円**
燃料価格の高騰の影響を緩和するため、運送事業者に対し補助する。<繰越明許費の設定>
 - ⑤ 地域公共交通事業者に対する支援…………… **1億2,900万円**
燃料価格の高騰の影響を緩和し運行継続を支援するため、乗合バス及びタクシー事業者に対し補助する。
 - ⑥ 畜産農家に対する支援…………… **5億1,335万円**
配合飼料価格のうち製造及び流通コストの上昇分の影響を緩和するため、畜産農家に対し補助する。
 - ⑦ **新** 県産農産物販売促進キャンペーンを通じた農業者支援及び家計負担軽減…………… **3億489万4千円**
県産農産物の取扱量の増加及び県民の家計負担の軽減を図るため、量販店等が行う販売促進キャンペーンに対し補助する。

拉致被害者の方々の一日も早い帰国の実現に向け、皆さまのご支援を!!

東奔西走、日々全力

視察 文教委員会視察 東北の先進的な取り組み について学んできました

県議会文教委員会の視察が、11月20日から22日の日程で実施されました。

20日午後には、山形県鶴岡市にある「慶応義塾大学先端生命科学研究所」を訪問しました。ここは最先端のバイオサイエンスを核とした未来創造田園都市「鶴岡サイエンスパーク」内に位置し、同研究所からは数多くのベンチャー企業が生まれているとのことでした。

21日午前には「山形県立東桜学館中学校・高等学校」を訪問。山形県初の併設型中高一貫教育校として、特色ある教育について視察しました。

午後は「仙台市立荒浜小学校」を訪問しました。東日本大震災の遺構として保存・整備され、被災の痕跡を鮮明に残す校舎を公開するとともに、被災直後の様子を映像等で見て学べる施設です。

22日午前、仙台市にある不登校児童を支援する「ろりぽっぷ小学校」を視察しました。一人ひとりの進度に合わせた学びを提供するとともに、共同的な学びの時間を確保することでコミュニケーション能力の向上を目指しています。保護者も交えての授業も計画し、悩む保護者の支援も行っており、有意義な視察でした。



慶応義塾大学先端生命科学研究所



山形県立東桜学館中学校・高等学校



仙台市立荒浜小学校の震災遺構の前で



不登校児童を支援するろりぽっぷ小学校(仙台市)

オリンピック・パラリンピック・ デフリンピック応援議員連盟 に名称を変更

私が所属する「埼玉県議会オリンピック・パラリンピック応援議員連盟」は12月12日に総会を行い、2025年に日本で初めて開催される聴覚障害者のためのオリンピック「デフリンピック」を応援するため、「埼玉県議会オリンピック・パラリンピック・デフリンピック応援議員連盟」に名称の変更を決定しました。

総会には聴覚障がい者協会の方にお越しいただき、デフリンピックについて説明をしていただきました。少しでも多くの方にデフリンピックについて関心を持っていただけるよう、応援議員連として全力で取り組んでまいります。



埼玉県議会オリンピック・パラリンピック・デフリンピック応援議員連盟のメンバー

イルミネーション点灯式

桶川駅西口ロータリーでイルミネーション点灯式が11月25日に行われました。2月まで点灯するという事で、実行委員会の皆様にはご苦勞をおかけいたします。

イルミネーション点灯式にて小野克典市長(左)と



桶川市消防団特別点検

11月23日、桶川小学校校庭にて桶川市消防団の特別点検が開催されました。長年勤めてきた方々に感謝状が授与され、大変、力強く感じました。



道の駅おけがわ(仮称)起工式

「道の駅おけがわ(仮称)」の起工式が10月19日、関係者の方々の参列のもと開催されました。

道の駅は圏央道「桶川北本IC」から約1km、旧川田谷小学校跡地に整備されます。敷地面積は、国が整備する部分も含め2.9ha、施設の完成イメージは、江戸時代に宿場町として栄えた市の歴史を感じさせる長屋風の建物にするよう



です。地域振興に寄与する施設となるよう、期待しております。



道の駅おけがわ(仮称)の完成イメージ

加納小学校150周年記念式典



桶川市立加納小学校150周年記念式典が11月18日に開催されました。私の母校でもあり、嬉しく懐かしい思いで参加させていただきました。

ビデオレターで卒業生で俳優の本木雅弘さんからメッセージが流されると、皆さんは大喜びでした。

桶川べに花杯剣道大会

第21回桶川べに花杯剣道大会が11月19日、サンアリーナにて開催されました。

今年の参加者は、小中学生963名との事で圧巻でした。



桶川スポーツフェスティバル開催

桶川スポーツフェスティバルが10月22日、桶川サンアリーナにて開催されました。

今年は車椅子バスケットの説明・実技、桶川高校ダンス部によるダンスが披露されたほか、13スポーツ団体が参加されました。



埼玉県戦没者追悼式に出席

戦没者追悼式が10月21日、4年ぶりに開催され出席しました。

戦争という悲惨な行為を二度と繰り返してはならないこと、平和がいかに得難く、尊いものであるかを次の世代に伝えていくことは今を生きる我々の責務であろうと思います。私は、平和への想いを深く心に刻み、平和な社会を築いていくことを誓います。



靖国神社を視察

埼玉県議会英霊をたたえる議員連盟は11月29日、靖国神社を視察いたしました。

今年は県議から衆議院議員に転出した中野英幸代議士も出席され、久しぶりに旧交を深めました。



岡地まさる 県政事務所

〒363-0026 埼玉県桶川市上日出谷42-73
Tel. 048-780-2982 / Fax. 048-780-2983

ポスティング作業など、お手伝いいただける方を募集しています。詳しくは岡地まさる県政事務所へお問い合わせください。



小川 しのいちろう

県民が主役の政治 ー深谷市・寄居町・美里町ー

発行：埼玉県議会 自由民主党議員団 〒369-1101 深谷市長在家14 TEL・FAX 048-583-6838 ✉spa783z9@wind.ocn.ne.jp

県議会2月定例会

課題に真摯に挑戦する 未来を切り拓く施策として

令和6年度
一般会計予算

約2兆1,197億4千万円の計上を議決

県議会2月定例会(2月20日～3月27日)は、令和6年度一般会計当初予算 2兆1,197億4,400万円、及び、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に連動した令和5年度一般会計補正予算【第6号】319億5,822万円等を議決しました。

埼玉県は今、人口減少・超少子高齢社会の到来、そして激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応という2つの大きな課題に直面しています。また、社会の在り方が変化し、多種多様な価値観が広がっている中、県民全ての人々が活躍でき、安心して暮らせる社会の実現が、一層強く求められています。

令和6年度当初予算は、これらの課題に真摯に挑戦する、未来を切り拓く内容となっています。「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向け、これからも全力で働いてまいります。



危機管理・大規模災害対策特別委員会 東京都内の先進事例を視察

危機管理・大規模災害対策特別委員会の視察が1月30日にありました。午前中は清瀬市にある大林組技術研究所を視察、午後は東京都有明の丘基幹的広域防災拠点施設、「そなエリア東京」を視察しました。

「そなエリア東京」は、平常時には防災学習施設のある都市公園として活用され、災害発生時には、首都圏広域の現地対策本部として機能します。また防災学習施設では「地震災害後72時間をどう生き抜くか」をテーマとした施設でした。



▲大林組にて



▲そなエリア東京の防災学習施設にて



環境農林委員会 元荒川水循環センターを視察

県議会環境農林委員会は1月16日、元荒川水循環センター(桶川市)及び、(株)ヤマザキライス(杉戸町)を視察しました。

元荒川水循環センターは、平成31年度より下水汚泥から生じるバイオガスを利用した発電事業に取り組んでいます。また今年度から新たに、下水汚泥から堆肥を試作する検証等を実施しています。埼玉県は、2030年度に温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減することを目標に定めており、新技術を用いて取り組んでいる状況を把握することができました。



▲元荒川水循環センターにて



▲株式会社ヤマザキライスにて

(株)ヤマザキライスは先端技術を駆使して作業の効率化、コスト削減に取り組んでいます。農業に新しい流れを創ろうとしている同社の取り組みは、今後の農業分野における施策の参考になりました。



令和6年度

深谷市 寄居町 美里町の主な県事業

令和6年度において予算を確保することができました、深谷市・寄居町・美里町の主な県事業（インフラ整備等）をご報告します。

今後も皆さまの声を県政に届けるため、そして地域のさらなる発展のため、全力で働いてまいります。

県土整備部

令和6年度当初予算

〈深谷市〉

路線名等	事業内容
① 針ヶ谷岡線(山河)	自転車歩行者道整備(L=740m、W=6.0(12.0)m)
② 寄居岡部深谷線(萱場)	交通安全施設整備事業(L=50m、W=7.0(9.5)m)
③ 深谷嵐山線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=1,080m、W=6.0(14.0)m)
④ 花園本庄線(榛沢通り)	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=2,560m、W=6.5(15.0)m)
⑤ 花園本庄線(武蔵野)	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=500m、W=6.0(14.0)m)
⑥ 熊谷寄居線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=180m、W=6.0(12.0)m)
⑦ 本庄妻沼線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=850m、W=6.0(14.5)m)
⑧ 本庄妻沼線	道路改築(L=850m、W=6.0(14.5)m)
⑨ 花園本庄線(武蔵野)	道路改築(L=500m、W=6.5(15.0)m)
⑩ 花園本庄線(筒挽)	舗装道整備(舗装修繕、W=6m、L=400m)
⑪ 井財深谷線(原郷)	舗装道整備(舗装修繕、W=6m、L=300m)
⑫ 本庄妻沼線(上手計)	舗装道整備(舗装修繕、W=6m、L=300m)
⑬ 熊谷寄居線(嵐山)	舗装道整備(舗装修繕、W=6.1m、L=400m)
⑭ 伊勢崎深谷線(米町)	舗装道整備(舗装修繕、W=5.6m、L=400m)
⑮ 植松橋(深谷嵐山線)	橋りょう修繕(伸縮装置修繕)
⑯ 共栄橋(伊勢崎深谷線)	橋りょう修繕(補修設計)
⑰ 志戸川	河川改修(測量設計)
⑱ 清水川(外)	排水機場等維持修繕(ポンプ設備整備工、保守点検)
⑲ 清水川	河川改修(河川管理施設修繕)
⑳ 小山川	河川改修(河川管理施設修繕)
㉑ 福川	河川改修(河川管理施設修繕)
㉒ 清水川排水機場(清水川)	河川施設震災対策(耐震工)

〈寄居町〉

㉓ 坂本寄居線(鉢形)	自転車歩行者道整備(L=270m、W=7.6(10.0)m)
㉔ 菅谷寄居線(雷田)	自転車歩行者道整備(L=70m、W=11.5(13.0)m)
㉕ 国道140号(末野)	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=2,270m、W=13.0(25.0)m)
㉖ 広木折原線	道路改築(L=2,000m、W=6.0(10.0)m)
㉗ 国道140号(末野)	道路改築(L=2,270m、W=13.0(25.0)m)
㉘ 赤浜小川線	道路改築(L=970m、W=6.0(10.6)m)
㉙ 坂本寄居線	道路改築(L=320m、W=6.0(12.0)m)
㉚ 国道140号(末野)	舗装道整備(舗装修繕、W=7.2m、L=700m)
㉛ 小前田尻玉線(用土)	舗装道整備(舗装修繕、W=6.6m、L=350m)
㉜ 飯能寄居線(鉢形)	舗装道整備(舗装修繕、W=6.1m、L=500m)
㉝ 飯能寄居線(寄居)	電柱地中化(道路)整備(支障物件移設)
㉞ 宮沢口橋(国道140号)	橋りょう修繕(伸縮装置修繕)
㉟ 今市橋(本田小川線)	橋りょう修繕(ひび割れ補修)
㊱ 用土橋(寄居岡部深谷線)	橋りょう修繕(ひび割れ補修)
㊲ 鉢形陸橋(国道254号)	橋りょう修繕(橋面舗装)
㊳ 赤浜陸橋(熊谷寄居線)	橋りょう修繕(補修設計)
㊴ 玉淀大橋(国道254号)	橋りょう修繕(橋面舗装)
㊵ 花園橋(菅谷寄居線)	橋りょう修繕(耐震補強設計、落橋防止)
㊶ 少林寺川	砂防施設(漂流保全工、用地買収、物件補償)
㊷ 関山川	砂防施設(測量設計)
㊸ 荒川	河川改修(河川管理施設修繕)
㊹ 荒川	川の再生推進(設計、整地工)

〈美里町〉

㊺ 本庄寄居線(猪俣)	自転車歩行者道整備(L=500m、W=6.0(9.5)m)
㊻ 広木折原線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=2,000m、W=6.0(10.0)m)
㊼ 広木折原線	道路改築(L=2,000m、W=6.0(10.0)m)
㊽ 本庄寄居線(阿那志)	舗装道整備(舗装修繕、W=7m、L=250m)
㊾ 熊谷児玉線(阿那志)	舗装道整備(舗装修繕、W=6.1m、L=300m)
㊿ 本庄寄居線(甘粕)	舗装道整備(舗装修繕、W=6m、L=250m)
1 国道254号(猪俣)	道路環境整備(防草対策工、L=500m)
2 志戸川	河川改修(測量設計)
3 粉木川	砂防維持修繕(護岸修繕工)
4 湯本川	砂防維持修繕(測量設計)
5 天神川	河川改修(河川管理施設修繕)

令和5年度2月分補正予算

(国の補正対応分)

〈深谷市〉

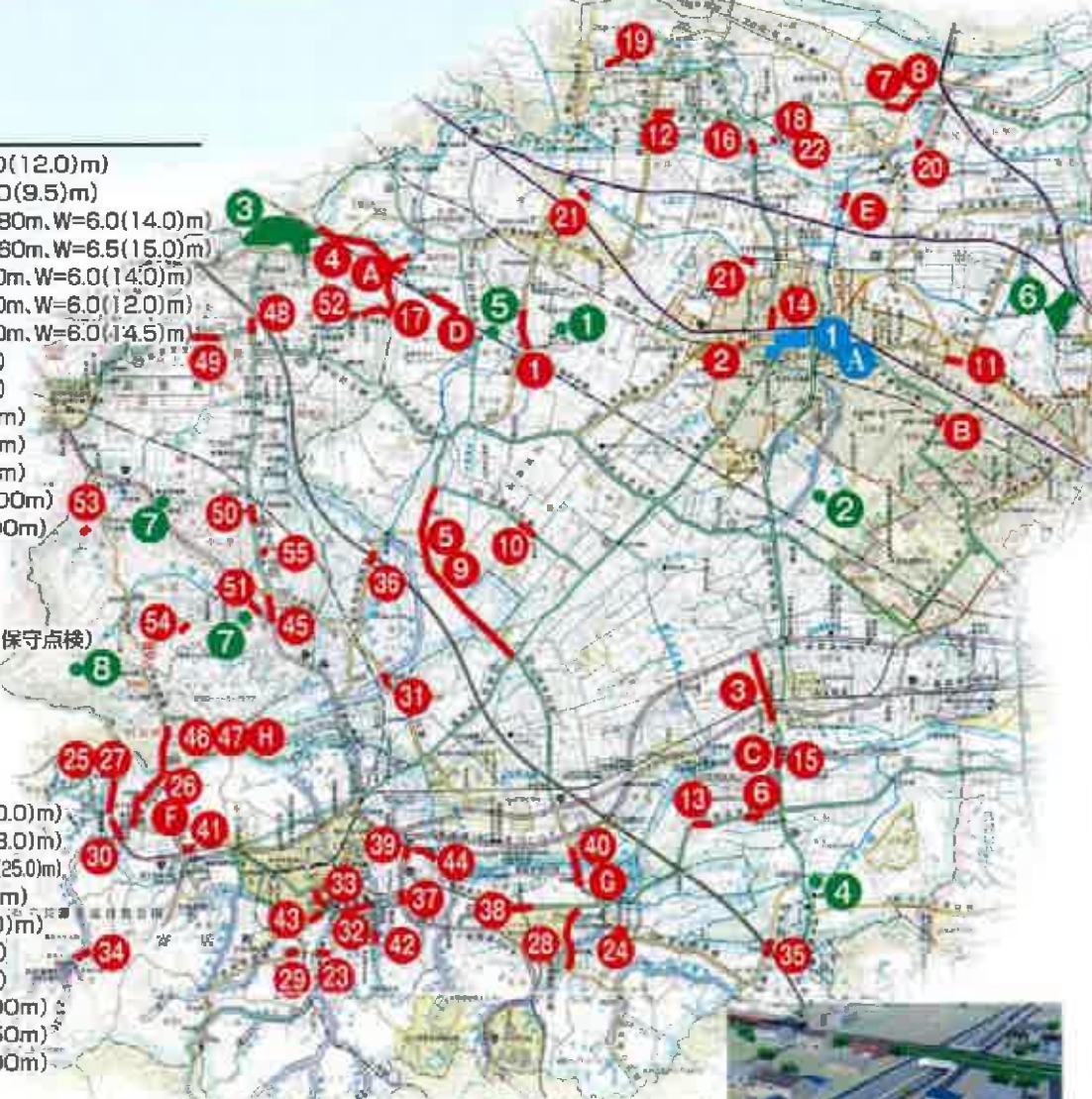
路線名等	事業内容
① 花園本庄線(榛沢通り)	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=2,560m、W=6.5(15.0)m)
② 東通り陸橋(深谷東山線)	橋りょう補修事業(塗装塗替、JR委託)
③ 植松橋(深谷嵐山線)	橋りょう補修事業(伸縮装置修繕)
④ 藤治川	社会資本整備総合交付金(河川)事業(測量設計、用地買収)
⑤ 唐沢川	社会資本整備総合交付金(河川)事業(護岸工)

〈寄居町〉

⑥ 広木折原線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=2,000m、W=6.0(10.0)m)
⑦ 花園橋(菅谷寄居線)	社会資本整備総合交付金(橋りょう維持)事業(耐震補強設計)

〈美里町〉

⑧ 広木折原線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=2,000m、W=6.0(10.0)m)
---------	--



農業基盤整備事業《農林部》

令和6年度当初予算

〈深谷市〉

事業名	箇所名	事業内容
① かんがい排水事業(一般型)	荒川中部左幹線(岡部ほか)	用水路改修L=90m、給水スタンド設置1式
② かんがい排水事業(一般型)	荒川中部右幹線(上野台ほか)	付帯工1式、給水スタンド設置1式
③ ほ場整備事業(経営体育成型)精糖関連	栗崎向田(榛沢ほか)	測量設計1式
④ 農地防災事業(河川応急)	芳沼堰(本田)	実施設計1式
⑤ 彩の国ゆたかなむらづくり整備事業	三浦(山河)	機能強化、管路工1式
⑥ 農地中間管理機構農地耕作条件改善事業	東方(東方)	区画整理6.0ha

〈美里町〉

⑦ 彩の国ゆたかなむらづくり整備事業	駒衣-南部中央(駒衣ほか)	(高度化型)実施設計1式(2地区)
--------------------	---------------	-------------------

治山事業《農林部》

令和6年度当初予算

〈美里町〉

事業箇所名等	事業内容
⑧ 南谷(白石)	護岸工、測量設計

都市整備部

令和6年度当初予算

〈深谷市〉

事業箇所名等	事業内容
⑨ 中央	公共団体区画整理事業県道整備(移転補償)
令和5年度2月補正予算(国の補正対応分)	
⑩ 中央	公共団体区画整理事業県道整備(移転補償)

下水道局

令和6年度当初予算

〈深谷市〉

事業箇所名等	事業内容
荒川上流水循環センター外	処理場受変電設備改築工事、荒川上流幹線外入孔浮上診断設計業務委託
荒川上流水循環センター外	処理場電話設備改築設計業務委託、荒川上流幹線管渠調査・設計業務委託

〈寄居町〉

寄居中継ポンプ場	寄居中継自家発電設備地下タンク増設工事
----------	---------------------

令和5年度2月補正予算(国の補正対応分)

〈深谷市〉

荒川上流幹線外	処理場汚泥監視制御設備改築工事
---------	-----------------

〈寄居町〉

寄居幹線	寄居幹線圧送管二酸化基本設計業務委託
------	--------------------

⑨ 県道深谷嵐山線鉄道アンダーパス完成予想図





小川 しんいちろう

県民が主役の政治 ー深谷市・寄居町・美里町ー

発行：埼玉県議会 自由民主党議員団 〒369-1101 深谷市長在家14 TEL・FAX 048-583-6838 spa783z9@wind.ocn.ne.jp

県議会9月定例会報告

補正予算
【第2号】 **165億1,057万9千円**

コロナ支援継続・重要公共事業の追加・eスポーツ普及へ

県議会9月定例会は9月22日から10月13日にかけて開催され、一般会計補正予算【第2号】165億1,057万9千円の計上等を議決しました。

補正予算の主な内容は、高齢者・障害者施設等における新型コロナウイルス感染症対策の支援継続のための予算として69億4,946万6千円、重要な公共事業の追加予算として21億6,345万3千円、企業版ふるさと納税を活用したeスポーツの普及・裾野拡大のためのイベント開催に要する予算として1,062万9千円など、当面对応すべき事業に対する補正予算が盛り込まれました。



9月定例会では一般質問に登壇(10月4日)。大野知事はじめ県執行部と一問一答、県の施策に対し質問・提言を行いました。本号では2頁にその概要を掲載しました。どうぞ一読ください。

山西省常務副省长表敬訪問に同席

埼玉県と友好省である中国・山西省の吳偉(ごい)常務副省长が9月27日、埼玉県を表敬訪問され同席しました。

山西省とは昭和57年(1982年)10月に友好提携し、これまで山西大学への奨学生の派遣や埼玉県立大学における山西医科大学の学生の受入れ、環境保全をテーマとした研究員の相互派遣など様々な交流を行っています。



▶中国・山西省 吳偉常務副省长に記念品を贈呈

防犯街頭キャンペーンに参加

埼玉県議会防犯のまちづくり推進議員連盟は10月12日、大野元裕知事や埼玉県警の方々とJR浦和駅にて防犯街頭キャンペーンを行い、窃盗や振り込め詐欺への注意を呼び掛けました。



議員政策研修会が開催

県議会議員と市町村議会議長等を対象とした議員政策研修会(立石泰広議長主催)が9月22日、県議会庁舎にて開催されました。講師にサイエンス作家の竹内薫氏を招き、「チャットGPT等の生成AIとの付き合い方」をテーマにご講演いただきました。

▶県議会議員(68人)、市町村議会議長・副議長等(44人)の計112の方が参加されました。



議会運営委員会の様子



県産農産物の振興、未来に向けた人材の育成等を質問提言

先の県議会9月定例会においては一般質問に登壇する機会を得て、10項目18件について県の施策に対し質問・提言を行いました。

知事公約・これからの4年に向けた「全国に誇れる埼玉県の農産物の振興」について

県産いちごが今年、最高金賞に輝いた。この機会を逃さず、県産農産物の更なる生産や販売の拡大に力を入れるべきと提言。大野知事は「栽培面積の拡大はもとより、イベントなどを開催し県産農産物全体の生産・販売対策に取り組む」と答弁。

再質問を行い、海外も視野に取り組みべきと提言。大野知事は「今年度からプロモーション費用への支援を開始した。いちごはタイ、米はアメリカ、狭山茶はフランスでプロモーションが実施される。引き続き取り組む」と答弁。



▶「第1回全国いちご選手権(令和5年2月)」において、全国63品のいちごの中から野菜ソムリエが審査し、ヒロファームの「あまりん」が最高金賞に選ばれた。

農業の担い手問題、県の支援の在り方について

(1) 経営資源の有効活用について

後継者のいない農家の経営資源を就農希望者に継承され、有効に活用される支援が必要だと提言。農林部長は「経営移譲する農家には税理士を派遣し税務上の助言、継承する方には就農計画や資金計画の作成を支援し、両者には合意書の作成などを支援している」と答弁。

(2) 小規模農家への支援について

農家の子弟が定年後に後を継げるよう、就農を後押しする仕組みも重要。新規就農者への「経営開始資金」のような支援策を国へ働きかけるべきと提言。農林部長は「農家子弟が継承後の経営発展に活用できる国の事業もあり、今後、課題を整理・分析し、国へ必要な支援策の拡充を要望するなど、しっかり支援していきたい」と答弁。

畜産業の支援について

厳しい状況が続く畜産農家に対する振興対策について質問。農林部長は「配合飼料や輸入粗飼料の購入費補助や品種改良などを進め、畜産農家の経営安定を図っていきたい」と答弁。

知事公約・これからの4年に向けた「未来に向けた人材の育成」について

(1) グローバル人材の育成について

知事の公約にある「真の国際人」について質問。知事は「多様な価値観を認め、様々な地域の人々の懸け橋となり、的確かつ柔軟に課題解決を図ることができる人材こそ「真の国際人」と考える。若い方が国際感覚を身に付ける機会を充実させていきたい」と答弁。

(2) 高校におけるグローバル人材の育成について

高校生の段階から国際交流を充実させることが大切だと提言。知事は「これまでの取り組みに加え、外国人留学生等との交流など、さらに充実させていく」と答弁。



県北地域の救急医療体制の充実について

医療資源の乏しい県北地域における医療提供体制構築について、県はどのように取り組んでいるのか質問。保健医療部長は「ドクターヘリの体制整備をはじめ、群馬県とのドクターヘリの広域連携、救急医療情報システムの相互運用、さらには、深谷赤十字病院と深谷市消防本部との協定によるワークステーション型ドクターカーの運用を開始。今後も地域医療提供体制の確保に努める」と答弁。

埼玉県学力・学習状況調査について

(1) 調査の実施状況と成果について

埼玉県学力・学習状況調査の実施状況とこれまでの成果について質問。教育長は「学力を伸ばしている教員の授業を映像化し、校内研修での活用を促すと共に、個別の課題に対する支援をするなど、県、市町村、学校が一体となった授業改善に取り組んできた。その結果、全国学力・学習状況調査において、令和4年度からは複数教科で全国平均正答率を上回るなどの成果があった」と答弁。

(2) 成果の活用について

令和の日本型学校教育で求められている「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現するために、埼玉県学力・学習状況調査の更なる活用について質問。教育長は「令和6年度はCBT方式による実施で、児童生徒の解答に要した時間も把握できるようになり、より個別最適な学びの充実を図ることができると考える。また、小学校低学年の学力状況が、その後の学力に影響を与えることが分かっており、指導力ある教員の低学年の授業を映像化し、市町村と共有していく」と答弁。

地元問題について

(1) 県道深谷嵐山線のバイパス整備について

現在の進捗状況と今後の見通しについて質問。県土整備部長は「現在の用地買収率は97%、北側130m区間の工事を実施している。アンダーパス部については詳細設計が完了し、令和5年度は軌道や架線の移設について設計を進めている。今後は、秩父鉄道と工事に関する協定を締結し、工事に着手する」と答弁。

(2) 県道赤浜小川線のバイパス整備について

現在の進捗状況と今後の見通しについて質問。県土整備部長は「これまでに840mが完成し、令和5年度末の全線開通を目指している」と答弁。

(3) 県道熊谷寄居線の歩道整備について

現在の進捗状況と今後の見通しについて質問。県土整備部長は「嵐山地区は本島駐在所交差点から西側の170m区間は現在の用地買収率は51%、引き続き用地の取得を進める。本田地区の90m区間は令和5年度内の完成を目指している」と答弁。



傍聴席(写真後方)は、私の一般質問を傍聴に来られた地元の方々が満席となりました。



小川 しんいちろう

県民が主役の政治 ー深谷市・寄居町・美里町ー

発行：埼玉県議会 自由民主党議員団 〒369-1101 深谷市長在家14 TEL-FAX 048-583-6938 ✉spa783z9@wind.ocn.ne.jp

県議会
12月
定例会報告

物価高への緊急支援に約115億円 猛暑被害の農家支援に約1億円を議決

県議会12月定例会は12月4日から22日の日程で開催され、一般会計補正予算【第3号】9,688万1千円、【第4号】18億1,140万4千円、【第5号】114億9,715万2千円等を議決しました。

補正予算【第3号】は、令和5年夏の猛暑による水稲、大豆の高温障害を受け、次期作付けにかかる種苗や肥料購入経費を補助するための予算、補正予算【第4号】は、職員給与の改定等に伴う予算が主な内容となっています。

補正予算【第5号】は、物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者を支援するための、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づくものです。これまで県が進めてきた福祉・医療施設等への光熱費等の支援やLPガスを使う一般家庭への支援等に加え、トラック運送事業者に対する燃料費の支援、県産農産物販売促進キャンペーンを通じた農業者支援及び家計負担軽減策、一人親家庭の子供の進学等への支援等が新たに盛り込まれました。



一般会計 補正予算【第3号】 9,688万1千円

*高温などによる水稲及び大豆の被害への対応(9,676万5千円)など。

一般会計 補正予算【第4号】 18億1,140万4千円

*人事委員会勧告及び報告を踏まえた職員給与の改定等に伴う給与費のため。

一般会計 補正予算【第5号】 114億9,715万2千円

*価格等の物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者を支援するため、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づく補正予算を活用した予算。

《一般会計 補正後累計 2兆2,593億9,489万5千円》

補正予算【第5号】の主な内容

物価高騰の影響を受ける生活者・事業者に対する緊急支援

① **再** LPガスを使用する一般消費者等に対する支援…………… **31億8,743万7千円**

LPガス料金の高騰による一般消費者等の負担を軽減するため、販売事業者を通じ、価格高騰の影響分の一部を補助する。〈繰越明許費の設定〉

② **新** 子供の進学等への支援…………… **1,171万5千円**

経済的課題を抱えるひとり親家庭等の子育て世帯について、子供の進学に向けたチャレンジを後押しするため、大学等の受験料や中学・高校3年生の模試費用などの支援を行う市町村に対して補助する。



③ 福祉施設、医療施設等に対する支援…………… **36億148万4千円**

光熱費等の高騰の影響を緩和するため、高齢者施設、障害者施設、児童養護施設、保育所、病院、一般診療所、分娩取扱産所、施術所、私立学校、卸売市場、園芸施設等に対し補助する。

④ **新** トラック運送事業者に対する支援…………… **23億2,800万円**

燃料価格の高騰の影響を緩和するため、運送事業者に対し補助する。〈繰越明許費の設定〉



⑤ 地域公共交通事業者に対する支援…………… **1億2,900万円**

燃料価格の高騰の影響を緩和し運行継続を支援するため、乗合バス及びタクシー事業者に対し補助する。



⑥ 畜産農家に対する支援…………… **5億1,335万円**

配合飼料価格のうち製造及び流通コストの上昇分の影響を緩和するため、畜産農家に対し補助する。

⑦ **新** 県産農産物販売促進キャンペーンを通じた農業者支援及び家計負担軽減…………… **3億489万4千円**

県産農産物の取扱量の増加及び県民の家計負担の軽減を図るため、量販店等が行う販売促進キャンペーンに対し補助する。



地域の発展と安心・安全の実現に向け日々全力!!



環境農林委員会

鳥取県の先進的な取り組みについて視察

環境農林委員会は11月20日・21日の両日、鳥取県の先進的な取り組みについて視察してきました。

20日に訪問したトゥリーアンドノーフ(株)は、高い生産性が持続可能性を高めるとい

う考えの元に、規模拡大や科学的視点に立った農業経営、環境負荷軽減・バイオテクノロジー等の技術の積極的な活用に取り組んでいます。本県でも農業従事者の経営改善・強化が課題となっており、今後の取り組みにとっても参考になりました。

21日は江府町の奥大山自然塾を訪問しました。同塾は脚本家



▲トゥリーアンドノーフ株式会社にて説明を受ける。



▲奥大山自然塾にて。

倉本聡氏が主宰するNPO富良野自然塾の、全国7番目となる分校として開校。町をあげて環境学習に取り組んでいる様子を詳細に見聞きすることができ、本県における環境学習推進のための参考になりました。



▲奥大山自然塾にて。その背景には大山がそびえていました。

アリオ深谷で防犯キャンペーンを実施

10月23日、アリオ深谷センターコートにて防犯キャンペーンを行いました。

自転車盗難や振り込め詐欺被害防止を呼び掛けるチラシ、自転車盗防止のためのワイヤーロックなどを配布し、県民の皆さまに注意喚起を行いました。



◀深谷市のマスコット「ふっかちゃん」が応援に駆け付けキャンペーンを盛り上げてくれました。

危機管理・大規模災害対策特別委員会

災害対策に取り組む熊本県の先進事例を視察



◀熊本県総合防災航空センターにて

危機管理・大規模災害対策特別委員会は9月6日・7日の両日、熊本地震や豪雨被害などの大規模災害に見舞われ、復興と対策に取り組む熊本県を視察してきました。

6日は熊本県総合防災航空センターを訪問。数年ごとに大規模災害に見舞われる中、防災ヘリコプターを有効活用して、災害に最大限対応している取り組みを学ぶことができました。防災ヘリの運用と関係機関との連携のあり方など、たいへん参考になりました。

7日は熊本県防災センターを訪問。防災センターが新設された、災害に備えた庁舎について視察しました。

本県も老朽化した県庁舎の整備は喫緊の課題であり、大規模災害に対する県庁舎のあり方について、今後の参考になりました。



▲熊本県総合防災航空センター視察

議会運営委員会

開かれた議会への取り組み等について視察

議会運営委員会は10月18日、インターネット中継など開かれた議会への取り組みについて神奈川県議会を、傍聴のバリアフリー化の取り組みについて大田区議会を視察しました。両議会とも先進的な取り組みをされていてたいへん参考になりました。



▲神奈川県議会本会議場にて。



▲大田区議会本会議場にて。

県道花園本庄線改良促進期成同盟会が要望活動

県道花園本庄線改良促進期成同盟会は県に対し、県道花園本庄線の早期完成を求める要望書を提出しました。利便性向上への期待も高く、一日も早い開通に私も取り組んでまいります。



靖国神社を視察

埼玉県議会英霊をたたえる議員連盟は11月29日、靖国神社を視察いたしました。



埼玉県議会議員

市政と県政の架け橋

小川ただし

令和5年(2023年)夏号

県政報告

発行
埼玉県議会自由民主党議員団
小川ただし政務活動事務所
〒350-0223 坂戸市八幡1-1-2
TEL.049-289-2255

皆さまの負託に応えるため 全力で働きます！

先の統一地方選挙を通じて、私たちは県民の皆さまから様々な『声』を頂いてまいりました。この『声』をしっかりと受け止め、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念に基づき、誰もが安心して豊かに暮らせる郷土・埼玉を築いていかなければと決意を新たにしています。

私が所属する自民党議員団は総勢58名でスタートすることとなりました。県議会の過半数を占める最大会派として、その責任を重く感じているところです。また、私は今期、総務県民生活副委員長に就任し、危機管理・大規模災害対策特別委員会に所属することになりました。県議団の仲間と力を合わせ、県政の課題に全力で取り組んでまいります。

今後とも皆さまのより一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い致します。



総務県民生活委員会(副委員長)
危機管理・大規模災害対策特別委員会

県議会5月臨時会・6月定例会報告

大型補正予算 約183億8千万円を議決

選挙後初となる県議会は5月23・24日に「5月臨時会」が開催され、第1号補正予算183億8,387万9千円の計上等を議決しました。また、6月19日からは「6月定例会」が開催され、「埼玉県税条例の一部を改正する条例」などを議決し7月7日に閉会しました。

5月臨時会で議決した第1号補正予算は、国の「物価高克服に向けた追加策」に対応した、エネルギー・食料品価格等の物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者への支援策です。その概要は次の通りとなります。

- ①物価高騰の影響を受ける生活者に対する緊急支援 (46億7,877万8千円)
- ②物価高騰の影響を受ける事業者に対する緊急支援 (115億4,191万1千円)
- ③物価高騰の影響を受けにくい経営体質への転換を促す支援 (21億6,319万円)

農業者等の免税軽油の利用環境改善へ

6月定例会で議決した「埼玉県税条例の一部を改正する条例」は、主に自動車税(環境性能割)と軽油引取税の改正です。

自動車税の改正は、地方税法の一部改正に伴い、環境性能が高い自動車の普及促進を図るため、税率を決める燃費基準を段階的に引き上げるためのものです。軽油引取税の改正は、原油価格の高騰を受け農業者等の税負担を軽減するとともに、県への報告制度を年1回に簡素化させることで、より免税軽油が利用しやすい環境となります。(詳細は下表を参照)

日本を元気にする 施策を提案してまいります

新型コロナウイルス感染症は5類への移行という一つの節目を迎えました。今後は感染の再拡大も念頭に置きつつ、地域経済の回復と持続的発展を強く押し進め、県民の皆さまが安心して生活できる環境整備を進めなければなりません。また、加速する少子高齢化、激甚化・頻発化する自然災害など、私たちが乗り越えなければならない課題は山積しております。

私たち自民党県議団は、埼玉から日本を元気にする施策を提案し続けてまいります。

埼玉県税条例の一部を改正する条例

条例の概要

概要

<自動車税(環境性能割)>
地方税法の一部改正に伴い、環境性能が高い自動車の普及促進を図るため、税率の基となる燃費基準の達成度合いを段階的に引き上げる。

<軽油引取税>
トラクターや掘削機など公道を走らない車両の軽油は、免税を受けることが可能。この免税軽油の利用者のうち農業者等について、軽油購入数量等の報告頻度を緩和する。

○緩和の内容(購入数量が年間3キロリットル以下の場合)

現行		→	改正案	
区分	報告頻度		区分	報告頻度
免税1年目	毎月		1年に一度	
2年目以降	1年に一度			



軽油引取税の改正について

目的

原油価格の高騰を受け、農業者等の税負担を軽減するとともに、免税軽油を利用しやすい環境を整備する。

現状・課題

- ・軽油価格 令和5年5月 141.2円/ℓ (令和3年5月比+16.4円/ℓ)
- ・免税となった1年目は購入数量等が少量でも毎月報告が必要
▶ 繁忙期がある農業者等にとって事務負担が重い

県内の免税軽油使用者 農業従事者の約2%

改正による効果

<利用者にとって>

- ・免税による税負担の軽減
1ℓにつき32.1円の軽減
- ・免税手続きに必要な事務負担の軽減
毎月から年1回の報告に軽減



県議会活動報告

令和5年4月の統一地方選挙では、多くの皆様のご支援を頂き2期目の県議会議員としての活動する機会を頂戴できました。改めて感謝致しております。

議会では、総務県民生活委員会（副委員長）と危機管理・大規模災害対策特別委員会に所属し県民の生活の向上や改善に向け碎身努力いたしております。特に坂戸市においては、治水問題の早期改善を目指し各関係機関や地元との調整にあたり円滑かつ速やかに事業が進むように継続して努力致しております。

今後ともお気づきのところがございましたお気軽にお声がけいただきご指導、ご相談をいただければ幸いです。継続は力！！皆様からいただいた機会は無駄には致しません。今後ともよろしくお願いいたします。

令和5年4月の統一地方選挙から議会活動、議員活動の歩み。。。感謝！！



地元密着の
議員活動を
目指します

シェイクアウト埼玉（県内一斉防火訓練）

埼玉県議会では、県民の方をはじめ県内在勤在学の方などに参加を呼びかけ、関東大震災から100年という節目の年に**発災当日の同時刻である9月1日（金）11時58分**に県内一斉でシェイクアウト訓練を実施することと致しました。

シェイクアウト訓練とは、地震の発生を想定し①まず低く②頭を守り③動かないという3つの安全行動をその場で行うもので誰でも、どこにいても簡単に1分程度で実施できる訓練です。いざという時の行動を再確認するため是非ご参加いただくようお願い申し上げます。

シェイクアウト埼玉
 防災訓練
 9月1日 11時58分
 参加登録ページから申し込みください。埼玉県電子申請・届出サービス https://apply.e-tuou.jp/prof-sanama/offer/offer_list_detail?tempString=shakeout



埼玉県議会議員 (上尾市/伊奈町 選出)

県政報告 第2号

お
ば
な

尾花あきひと

県議会に送り出して頂き半年が経過しました。筆頭委員会とされる「**企画財政委員会**」に所属し「**県財政全般/県庁組織/市町への交付税 人的支援/土地活用/商工団体支援/自衛隊連携等**」を所管しています。また初当選組のトップバッターとして一般質問に登壇しこれまで滞っていた上尾地域の**県施策推進**を強く訴えました。本号は地域版として、**動き出した地域施策等について**ご報告いたします。

編集・発行/埼玉県議会自由民主党議員団 尾花あきひと事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市 仲町1-5-7
TEL: 048(773)7033 FAX: 048(773)6287 E-mail: a-obana@obana-m.jp [県議会レポート]



【主なトピック】

- ① 北上尾踏切 立体交差化を再始動
- ② 第二産業道路 原市平塚工区を開通
- ③ 水上公園跡地活用 知事に要望提出
- ④ 急務! 信号機LED化の予算確保

① 滞っていた『北上尾の踏切 立体交差化』 原因を突き止め 整備を再スタートへ!

上尾環状線(BS通り)
北上尾立体



県職員を伴い現地調査を実施



県議会 一般質問

上尾の東西交通強化の必要性と
北上尾立体の早期実現を「知事に強く要望

(1) 事業の停滞理由が判明—

原因は「地中の企業局水道管」

北上尾エリアの住民の方々から長年にわたりご期待・注視されてきた県による「北上尾立体事業」(BS通りとJR高崎線 久保踏切を立体交差化し車道がアンダーパス化するもの)。平成9年に都市計画決定された事業にも関わらず、一向に進展が見られていない状況でした。

そもそも、上尾市は桶川・北本・鴻巣といった県央地域で最大規模の市であるにも関わらず、JR高崎線をまたぐ東西の交通路が乏しいという弱点があり、これによって引き起こされる渋滞が大きな課題です。

その改善に繋がる整備箇所として期待されてきたのがこの事業でしたが、地域の方々からは長年にわたり「いつになれば完成するのか」「本当に進んでいるのか」等の声があがっておりました。

今回、私は県議会に送り出して頂き、早速本件の状況を調査。現地調査および職員ヒアリングをかけたところ、滞っていた原因は「**県庁の県土整備部による事業だが、別部署である水を管理する『企業局』の水道管が地下に埋まっており、撤去に費用や手間がかかる事から、関係同士での具体的協議が行われていなかった**」事実が判明しました。

ただちに県土整備部に対し複数回にわたって要望を行い「**関係機関同士の協議の場を新設し、長年の地域の期待に応えるべく実現可能な手法を早期に示して頂きたい**」と強い要請をかけました。➡

(2) 県議会本会議にて現状を質問・要望!

質問後、県は関係機関協議の場を新設

➡引き続き 私は本会議の一般質問でも本件を取り上げ、大野知事に「上尾の東西交通強化の必要性」を訴えたほか、**県土整備部長に対し立体化の早期実現を要望したところ、答弁として「踏切を除去するために鉄道高架部をアンダーパス構造で立体交差化する計画ですが、この箇所に県企業局所管の『シールド外径2mの水道管』が埋設されており、アンダーパス化を行うには水道管を移設する必要があります。今後は、アンダーパスの施工方法や、水道管の移設位置等について、鉄道事業者及び企業局と協議を進めます。」**と回答があり、**公の場で初めて水道管の存在による課題が明らかとなり関係機関による協議 開催の確約が得られました。**

報道によるとその後、**機関協議が開催され、長年停滞していた状況がようやく動き始めた**との事です。**再スタートを実現できた本事業、**まだ時間を要する事が想定されますが、北上尾地域の利便性向上はもとより、市内交通環境の改善のためにも全力で取り組んでまいります。

県土整備部・企業局・JRの3者にて
関係機関協議が行われた旨 新聞掲載頂きました
[11/2付 埼玉建設新聞]



② 第二産業道路 原市~平塚工区 開通!

第二産業道路の原市~平塚工区(900m)が開通しました。S37年の都市計画決定、H18年の事業着手から、長い期間を待った事業でしたが、各位のお力添えによる区間完成により、**旧中山道・上尾道路とあわせた3本の南北ルート強化が**一歩進み、**渋滞解消効果があるかが期待される**ものです。



11/23 工区が開通

一方、**地域では新たな合流地点の渋滞をご心配の声も多数あり、更なる先線の開発促進や生活道の影響等、今後市議や地域の皆様と連携してお声を県に届け、また、市内渋滞の根本原因である旧中の渋滞対策等を進め交通の円滑化に力を尽くしてまいる**所存です。



③ 水上公園跡地活用 知事に要望提出

50年の歴史を歩んだ水上公園跡地を含む「**県立運動公園全体**」について地元から**県への強い要望**が必要です。県はこれまでに「**科学拠点施設(アスリートの競技力向上等を目的とする分析/練習/育成施設)**」の建設を計画し、**独立採算で運営する事業者を募集していく意向**ですが、この募集条件の策定段階で**3000人規模のスポーツアリーナの建設を推奨項目**として**います(県議選直前に案が策定)**。私は基本的考えとして「**認識すべきはこれだけ広大で平坦な県有地は国内でも貴重**」「**地域で愛された水上**

公園跡地として相応の施設が整備されるべき」、また、**運営事業者が民間であれ県の土地を活用する以上、「アスリート専用だけに留まらず、広く一般に寄与する要素が求められる」と**考えています。

上尾市から「**昨今、一般的なスポーツ大会の開催要件となる会場規模が3000人から5000人規模へと拡大している状況があり、体育館を建設する場合より広い活用幅のある5000人収容規模を県に要望したい**」との要望があり、11/22 **畠山上尾市長・星野市議会議長の要望提出**に帯同、**地元の県議として、私尾花と戸野部氏が**大野知事を訪問しました。私からは「**県全体にとってのプラスは勿論環境影響も考慮し、地元要望を丁寧にヒアリングし、県として誇れる施設建設を進めてほしい**」と述べました。

④ 急務! 信号機LED化の予算確保

県内には1万を超える信号機が設置され、**県は順次、白熱球式から、消費電力が低く寿命が長いLED式への切り替えを進めて**きましたが、この度、これまで**使用されてきた白熱電球について、急遽、製造メーカーから「R10年3月末をめぐりに製造を終了する」事が発表され、全国的に緊急の課題**となっています(都道府県でLED化が遅れていた場合、いずれ白熱式信号機用の交換電球が無くなってしまふ)。

各都道府県で駆け込み需要が高まる可能性も考えられ、**情報をいち早く掴んだ事から同期自民県議と連携し、県に現状を確認**しました。回答として「**灯器LED化については、従来、管理計画に基づき整備を進めており、R4年度末時点で車両用の約71%、歩行者用の約52%は完了。R5年度も整備予定だが、同水準で継続した場合、切り替え完了はR12年度中の計算となる見込み**」と回答があり、**現在のペースのままでは**



白熱球式

LED式

R10までに間に合わない状況がわかりました。信号機は設置予算の50%までを国が補助しますが、**大元の整備費用を各都道府県が確保したうえで補助される仕組み**となっているため、**まずは我々から県の予算確保と整備ペースの**

加速を要請。県警本部長からは本会議にて「**議員ご指摘のとおり、白熱電球が製造終了予定のため、車両用灯器の整備前倒しや、整備完了までの白熱電球の確保などの対応に向け、関係部局と調整を進めています。県警としては、国からの補助金を活用するなどして信号灯器のLED化を推進するとともに、保守点検を定期的実施する事により、信号機の適切な運用に努めてまいります。**」との旨答弁が得られました。

同時に私からは、**国に対し「信号機整備に対する補助拡充」の意見書提出を提案**。本会議にて全会派から賛同を頂き、**埼玉県議会として国会および関係行政庁へ要望を提出**しました。

尾花あきひと プロフィール

チェンジ!
埼玉の未来を拓く。

- 1983年上尾生まれ(40歳)
- 明治大学政治経済学部卒
(元東京都副知事青山やすしげ 都市政策専攻)
- 家族:妻 長女 父母 弟 愛犬 愛猫2匹(元保護)
- 略歴:ドラマ映画助監督(共同テレビ等勤務) 大和商事(株)常務取締役
- 趣味特技:スキー/登山/書道/映画
- 公職と地域活動歴:自由民主党 上尾支部長、埼玉県支部連合会青年局長
- 埼玉県議会議員(企画財政委員会、公社事業対策特別委員会)
- 元上尾市議会議員(総務常任委員長、議会改革特別委員長、予算特別委員長)
(上尾・伊奈広域行政協議会委員 上尾・桶川・伊奈衛生組合議員)
- 明治大学代議員、明治大学校友会埼玉県支部幹事
- (公社)埼玉中央青年会議所常任理事
上尾商工会議所青年部副会長 伊奈町商工会青年部
- 上尾伊奈防火安全協会理事 上尾仲町自主防災会相談役
- 日本防災生機構防災士

地域活動と近況



【あげお産業祭】

県議として式典、防火安全協会での防火キャンペーン、上尾YEGでの店舗等で参加。市内外からご来客頂き、上尾の産品に触れられる場面と、各種団体の出し物が大きな盛り上がりを生んだ素晴らしい二日間となりました。

【戦没者追悼式】

大戦より78年、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りし黙祷・献花を行いました。我が家も大叔父がフィリピンルソン島にて若い命を失っています。今日の平和と繁栄が多くの犠牲と悲しみの上に築かれている事を思い、平和な世界を築く事が現代の我々の責務と改めて胸に刻みしました。



埼玉県議会議員

チェンジ!
埼玉の未来を拓く。



(上尾市/伊奈町 選出)

県政報告 第3号

お
ば
な

尾花 あきひと



編集・発行/埼玉県議会自由民主党議員団 尾花あきひと事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-5-7
TEL: 048(773)7033 FAX: 048(773)6287 E-mail: a-obana@obana-m.jp [県議会レポート]

令和6年度一般会計予算

約 **2兆1,197億4千万円**
が可決・成立!



県議会2月定例会(2/20~3/27)では「令和6年度一般会計当初予算 2兆1,197億4,400万円」をはじめ県が議会に提出した各種議案を慎重審査しました。

予算案は共産党を除く賛成多数で可決・成立となり、埼玉県政の新年度がスタートとなります。

新年度の予算内容は「社会全体の生産性向上や住み続けられるまちづくり、気候変動やコロナ禍を経た持続可能な社会経済の構築」等の課題を見据え、「歴史的課題への挑戦」「日本一暮らしやすい埼玉実現に向けた取組の深化」を掲げた、限りある財源を配分した事業計画となっています。

昨年度までの緊急的措置であったコロナ対策費等が減じた関係で、率としては前年度比4.1%減となっていますが、4年連続での2兆円超え編成となり、知事をはじめ各部局に対し、我々県議団から定例会を通じて多角的に質疑を行い議論が交わされました。

国の「こども未来戦略」も動き出す中、都道府県・市町村がそれぞれの働きを最大・効率化していくことが、若年人口が急激に減少するといわれる2030年代までに必要です。また「地方創生」をはじめ、

本来ならば2010年代のまちづくりが総括されるべきだった時期にコロナ禍が到来したこと等をふまえ、改めてこのタイミングで2020年代の方向性の再確認が必要なことから、令和6年度は県や市町村にとって重要な局面になります。今回、私自身も予算委員会メンバーに就任。議会前より同僚と連携しながら、県内の政策課題を調査し、それらの視点も含めて審査に臨みました。県議団全体としても昨年度までに県に届けてきた提案の反映具合をチェックしつつ、テーマごとに各議員でバトンを繋ぎながら予算案を重点的に審査。最終的には付帯決議として、

「地下鉄7号線延伸に向けさいたま市との強力な伴走体制の構築」「保育士や看護師などの人材不足への財政支援」等を求めつつ、予算案を可決しました。

新年度の執行体制を引き続きチェックしながら、埼玉から未来を拓くため全力で取り組んで参ります。

地元要望ほか議会開会前の動きについて

開会に先立ち、地元上尾市からは、市長・議長・副議長が県庁に来訪され、県立スポーツ科学拠点施設整備(水上公園跡地)に関する要望等の動きがありました。予算審査では我々自民党県議団から「県が当初予定していた3000人収容規模のアリーナを5000人規模に拡大する要望が上尾市から提出され反映された予算案となっているが、同規模の他県会場とのイベント誘致合戦の観点から、5000ではなく5500や6000席まで検討すべき」と大野知事に対し指摘。また、自民党では議会月以外も、こども関係施策をはじめ各種団体や県民の皆様から従来以上に多くのお声を直接ヒアリングする体制を構築。これらに基づく要望の反映状況等もふまえ、予算案の審査に臨みました。いよいよ新年度が開始。県政が県民にとって最適に推進されるよう、執行状況もチェックしてまいります。



予算委員会での主な質疑



企画財政 基金(県の貯金)状況と国の「こどもまんなか政策」関連の補助制度活用状況を確認。独自財源の運用は予断を許さないとの認識が示されるなか、国の補助金活用が間に合っていないものもあるとのことで、今後、年度内の補正予算等の可能性も含め、これら補助を積極活用し市町村との連携による子育て支援策充実を打診。また、政策充実や費用対効果を高めるため、福祉・教育だけでなく、産業や都市整備にも子育て環境向上の目線を通す仕組みづくりを要請しました。

保健医療 僻地のみでなく都市部でもオンライン診療が可能となった背景をふまえ、まず地域ごとの需要把握を要請。医療機関のみでなく実施主体として想定される市町村に対しても説明の実施を求め県は実施すると回答。また、軽症者による救急ひっ迫の課題をふまえ、車両呼び出し前の電話相談体制の充実強化策も提案。

県土都市整備 国の国土強靱化予算の補助継続の打診と、市町村に対して県土整備の要望箇所ヒアリングを要請。新規事業である冠水箇所へのセンサー・警報設置については県内の限られた箇所だが、今後の広い展開と民間ナビ連携を提案。

危機管理 災害時に市町村が発行する「り災証明書」の様式が市町村ごとにバラバラゆえ、大規模災害時に発行業務が遅滞する問題に対し、県内市町村の様式統一化を強く要請するよう県に依頼。残る市町村に対して早急に促すと県は回答。

警察(公安委員会) 信号機LED化について、メーカーが従来の白熱電球をR10年度に生産中止すると突如発表しLED化速度を加速しないと電球が交換不能になる問題を昨秋に提起。要望が反映され予算がつき、以降3年同水準なら間に合う形に。

各エリア別 政策

- ① 江川改修
桶川と連携した河岸整備
- ② 大石 領家 河川氾濫時の避難計画の整備
- ③ 上尾道路から圏央道への接続と周辺道路網整備
- ④ 上尾道路沿道の土地活用促進
小規模土地区画整理により工業立地・企業誘致を
- ⑤ 平方 荒川無堤防区間 浸水対策
平方の文化と荒川の自然を活かした賑わいの場づくり
- ⑥ 鴨川改修
- ⑦ 首都高延伸で新乗降口を開設
周辺の土地活用で企業を誘致
- ⑧ 北上尾立体交差の整備促進ほか
“高崎線をまたぐ東西交通”の改善
- ⑨ 高崎線車両増便要望
- ⑩ 上尾駅東西口の市街地再開発事業
- ⑪ バス送迎保育ステーション設置

- ⑫ 右折帯設置ほか渋滞箇所の解消
URや大学と連携した
- ⑬ 県有住宅リノベーション
芝川改修
- ⑭ 運動公園全体の再整備
- ⑮ 水上公園跡地活用に民間投資の積極導入



- ⑯ 第二産業道路 桶川方面への延伸
- ⑰ 原市沼川 調節池整備ほか
伊奈氏ゆかりも活かした水辺再生
- ⑱ 第二産業道路の環境管理
- ⑲ 工業団地 県道アクセスと
用地確保の改善
- ⑳ 県民活動総合センター活用促進
伊奈セカンドキャリアセンター
で高齢世代の再就職支援
- ㉑ ニューシャトル料金値下げ
- ㉒ 新ゴミ処理場予定地周辺の
土地活用による工業立地
- ㉓ 伊奈中央線の早期整備と
周辺通学道ほか生活道の整備
- ㉔ 上尾環状線小室工区 道路拡幅
- ㉕ 農地集積と担い手確保事業
綾瀬川周辺治水対策

【そのほか全域的な政策】

- 県道拡幅等 渋滞解消で経済を循環
- 圏央道への接続道路網整備
- 電柱地中化等 緊急輸送道を強靱化
- 空き家対策 借上げ制度や民間連携
- バス路線等 地域交通の確保 改善
- 長期塩漬け計画道路の整備と見直し
- 道路活用イベントでの規制緩和
- 県施設の改修と利便性向上
- 医療と介護事業者の連携支援
- 産学官民の連携の場づくり

尾花あきひと プロフィール

チェンジ!
埼玉の未来を拓く。

- 1983年上尾生まれ(40歳)
- 明治大学政治経済学部卒
(元東京都副知事 青山やせしゼミ 都市政策専攻)
- 家族:妻 長女 父母 弟 愛犬 愛猫2匹(元保護)
- 略歴:ドラマ映画助監督(共同テレビ等勤務) 大和商事(株) 常務取締役
- 趣味 特技:スキー・登山/書道/映画

- 公職と地域活動歴: 自由民主党 上尾支部長、埼玉県支部連合会 青年局次長
- 埼玉県議会議員(企画財政委員会、公社事業対策特別委員会)
- 新年度所属変更(県土都市整備常任委員会、地方創生・行財政改革特別委員会)
- 元上尾市議会議員(総務常任委員長、議会改革特別委員長、予算特別委員長)
(上尾・伊奈広域行政協議会 委員 上尾・桶川・伊奈衛生組合 議員)
- 明治大学代議員、明治大学校友会埼玉県東部支部 幹事
- (公社)埼玉中央青年会議所常任理事
上尾商工会議所青年部 副会長 伊奈町商工会青年部
- 上尾伊奈防火安全協会 理事 上尾仲町自主防災会 相談役
- 日本防災士機構 防災士



県議会一般質問要旨

- 1 本県における二元代表制について
- 2 知事の次期マニフェストと、コロナ禍を経た県行財政の在り方
 - (1)基金残高とポストコロナ
 - (2)産業政策とDX
 - (3)地域医療体制の整備
 - (4)保健所等の体制
 - (5)医療資源の地域マネジメント
 - (6)オンラインを活用した医療資源の効率利用
 - (7)看護師人材の確保
 - (8)市町村連携(コバトン健康マイレージ)について
- 3 教育施策
 - (1)私立学校法改正による影響と対応
 - (2)中高一貫校の敷設について
 - (3)特色ある学校づくりについて
- 4 スポーツ科学拠点施設と上尾運動公園の一括整備について
- 5 原市沼調節池を核とした賑わいづくり
- 6 地元問題について
 - (1)北上尾立体交差
 - (2)都市計画道路伊奈中央線
 - (3)第二産業道路



こちらから一般質問動画もご覧可能です。(スマホカメラ等をかざして下さい)

尾花あきひと 県政報告



編集・発行/埼玉県議会自由民主党議員団 尾花あきひと事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-5-7
TEL: 048(773)7033 FAX: 048(773)6287 E-mail: a-obana@obana-m.jp (県議会レポート) 第1号

◆日頃より激励やお声を賜り感謝申し上げます。任期開始から4ヶ月、議員定数93のうち58名を数える自民党県議団では、議会日程に加え多くの政策研究の場を設け、議論する日々を送っております。上尾伊奈発展とともに地域から国を押し上げるべく努めてまいりますので、引き続きお声を賜れば幸いです。

◆県政を8分割して審査する「常任委員会」配属では、新任議員で唯一、筆頭委員会の【企画財政委員会】に所属させて頂く事となりました。

(※所管分野:財政/知事重点政策/県庁組織/官民連携/DX/自衛隊連携/土地利用/公共交通/商工団体支援/国との連携/市町への交付税・人材支援)

◆夏の初定例会では新人のトップバッターとして一般質問に登壇し、地元からは250名を超える傍聴の方に駆け付けて頂きました。今回、私は質問全般で「コロナ禍中で得た学びや県民との連携を一過性のものでせず、プラスに転じて埼玉の力を伸ばすべき」として提案を行いました。上尾伊奈の要望も訴え、結果、これまで滞っていた地元政策も動き出しました。政策の詳細解説は今後の号でお伝えさせて頂きたいと思いますが、今号では、皆様に送り出して頂いた県議会の空気感をお伝えすべく、一般質問のやりとりをほぼ全文掲載させて頂きます。

地方自治の根幹「二元代表制」を知事に問う

1 本県における二元代表制について

■尾花 多様性と不確実性が高まる社会の中で、県規模の挑戦により我が国に変革を生んでいけるかどうか、今こそ地方自治の真価が問われる時代です。

都道府県政は、かつては内務省官僚が知事として任命されていた時代もあったように、中央政府による統制に端を発するとも言われますが、県単位で対処すべき課題が増加し、そして危機対応による知見やDXが県民との直接対話を可能としつつある今、よりボトムアップの共同体へ切り替わる大きな節目にあると考えます。

改選後初の定例会に当たり、まず、本県の二元代表制について伺います。

住民により別個に選挙される議会と首長は、それぞれ独立した機関として対等に、適度な緊張関係を保つことが自治体運営の基本ですが、全国では、『両者が過度な対立に陥り、自治法改正まで招いた鹿児島県阿久根市』や、反対に、『市長、議長が共に関わる汚職が発生した上尾市』など、制度の根幹を揺るがす例も存在します。

翻って、ここ埼玉

県政では、先輩諸兄姉により全国有数の政策条例が制定され、二元代表制を体現する運営が図られているものと理解しております。

今回の統一選の折、報道機関によるアンケートにて、「県議会議員として、大野知事に対してどのようなスタンスを取りますか」として、与党的立場、野党的立場を問う設問がありました。このように報道機関でさえ、地方自治には本来存在しない「与野党」という言葉を用いるような現実があります。まずは、制度の広い理解とその理想の追求が必要だと考え、以下、知事に伺います。

一点目 与野党という概念が存在するとお考えになるか。

一点目 危機下では、物の本質が顕在化するものと存じますが、豚熱、東日本台風そしてコロナ禍といった危機管理対応下での怒涛の知事任期における実感として、二元代表制の意義をいかなる形で感じてこられたか、埼玉県政における現実の御所見をお聞かせください。

■大野知事 答弁

国会議員の中から内閣総理大臣を選ぶ議院内閣制を採る国とは異なり、地方自治体



では、首長と議員がいずれも住民から直接選ばれ、それぞれが住民を代表する二元代表制が採られております。議会の特定の政党から首長が選ばれるものではないため、地方自治体には、国のような与党、野党といった概念は存在しないと考えております。次に、二元代表制の意義をいかなる形で感じたのか、制度一般論は前提として、埼玉県政における現実の所感についてでございます。

知事は、県民を代表する行政の執行者として県民の声を県政に生かし、政策を実現していく立場にあります。他方、議員の皆様におかれましては、日頃の活動を通じて県民の生活実感などの現実の姿を熟知し、県民の生の声をつぶさに聞きつつ、県民を代表して県政をチェックする立場にあると考えます。知事と県議会とが、それぞれの置かれた立場から互いに切磋琢磨し、緊張感を持って是非々々で議論を積み重ね、より良い政策をつくり上げることを二元代表制の意義と考えております。



知事就任後の四年間を振り返りますと、とりわけ新型コロナウイルス感染症対策において、議員の皆様から頂いた、地域や経済界、各種団体等からの貴重な御意見を基に活発な議論を経て、ワクチン接種などの感染症対策や飲食店への協力金など、様々な補正予算が実現いたしました。また、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会も設置を頂き、体制整備に向けた議論を深めることができました。

コロナ対策のほかにも、ウクライナ情勢等に伴う原油価格や物価の高騰による県民生活及び県経済活動への影響を最小限にとどめるため、国の補正予算に対応した予算措置について、急施議案として県議会で緊急に御審議、御議決を頂いたこともございました。これらは、県議会の皆様の御協力なくしては、決してなし得なかつたと考えます。

本県では、二元代表制の下、理想的な形で知事と県議会とが切磋琢磨し、両輪の関係が築かれ、県民にとって良い形の県政につながっていると私は考えております。

「コロナ禍後の特殊な交付金清算」による県の認識の違いを指摘 基金を活かした予算編成を知事から確約

2 知事の次期マニフェストと、コロナ禍を経た県行財政の在り方
(一) 基金残高とポストコロナ

■尾花 コロナ禍は、多くの潜在的な社会課題を浮き彫りにしました。国と地方の政策、財政の連動性、役割分担の必要性はより可視化され、危機管理に代表される都道府県政のプレゼンスは、かつてないほど高まっています。そこで、ポストコロナに向け、まず、財源論からお伺いします。

民間レポート等では、本県の財政状況は総体として良好といった評価が多い一方、財源調整のための基金の残高が低い問題が議会から指摘されておりましたが、独自財源である県税収入がコロナ禍前から増加を続けていることに加え、コロナ禍における令和三年度の県財政では、当初の歳入見込みに反して決算額が上振れ、交付税も大幅増となったことと併せて、年度末の基金残高は約六百二十二億円の大増となる約一千二百七十四億円に、そして令和四年度も約百三十五億円の増となった結果、残高は一千四百九億円と大幅回復をした状況です。

知事は、本任期の総括について、二月定例会当時の代表質問に対し、『危機対応に追われ、自分がやりたいことよりも、やらなければいけないことを優先せざるを得なかつた』との旨、答弁され、報道によれば、自ら八十点と評価をされております。再選の意思を表明された今、積み増した財源の活用を含めて、施策を加速する考えがあるかをお伺いします。

この基金残高について、県は本年の予算特別委員会にて、『交付税の精算措置分と定年の段階的引上げに伴う退職手当分を積んでいるもの』と説明をされていますが、実は今回、ほぼ全ての自治体で精算が行われる一方、



精算が開始された令和四年度の地方財政計画において、実質的な交付税の全国の総額が減るところか増えているという事実があり、交付税額はコロナ禍前から大きく減らないという可能性が考えられます。

また、地方公務員の退職者と手当支給額は年々減少傾向にあり、特に令和五年度からの十年間は、定年延長に伴い退職者数が半減することから、支給額も大きく減ると思われまふ。令和四年度の補正予算第十号では、県税及び地方譲与税等について、県税交付金等の関連歳出を除いた見込みが当初予算に比べ約四百六十九億円伸び、財源調整のための基金残高も前年度比約百三十五億円増加するなど、基金と県税決算額がコロナ前の令和元年度以降、一貫して増え続けていることは客観的事実であり、政策実施に必要な財政基盤は徐々に整ってきて

いるとも考えられます。残高目標については、知事が『債務や経済状況で見直すべきもの』と述べられている前提での問いとなりますが、ポストコロナと再選に向けての施策加速について、財源論から知事の御所見をお伺いいたします。

■大野知事 答弁

議員お話しのとおり、財源調整のための基金残高は令和四年度末時点で一千四百九億円まで復元をしております。しかし、後年度の普通交付税の精算措置や定年年齢の段階的引上げに伴い、今後必要となる退職手当相当額を除いた実質的な残高は現時点で百六十億円であり、決して十分とは言えない状況であります。

また、県税収入は令和二年度以降増加しているものの、景気動向等により大きく左右される面もございます。さらに、今後、社会保障関連経費や公共施設の老朽化対策経費の増加は確実に見込まれており、財政状況に余裕があるとは言えないと認識しております。

このような状況でも、埼玉版スーパー・シティプロジェクトの参加自治体を拡大するほか、二年連続で一千億円を超える公共事業予算を確保するなど、本県の発展のために必要な施策については、財源を理由にすることなく、歩みを止めることなく実施をさせていたたいしております。

超少子高齢化社会が進展する中で、引き続き本県の成長を実現させるため、今後も未来を見据えたまちづくりを進めていくとともに、DXの推進をはじめとした社会全体の生産性向上に向けた施策に取り組みしていく必要がございます。そのためにも、引き続き、歳出面ではEBPMの考え方に基づいた検証を行い、不断の行財政改革に努め、効果の高い事業に限られた財源を重点化するともに、歳入面では、あらゆる手段を用いて財源確保を図ってまいります。令和五年度をポストコロナ元年として、十年、二十年先を見据えた持続的発展につながる取組を着実に実施してまいります。

■尾花 精算措置分を確保してある旨の答弁でした。確かに御説明のとおり、普通交付税の基準財政収入額については、一部の税目において課税実績とかい離が生じた場合、算定以降三か年かけて精算をするという仕組みになっております。

一方、先ほども述べましたが、今回この精算が始まった令和四年度の地方財政計画上の交付税及び臨財債の合計額、つまり全国の自治体に対してこれから配分する交付税の総額を過去と比較しますと、コロナ前の令和二年度と比べて減るところが増えています。また、令和五年度についても同様の規模で推移しているという状況がございます。これについては、一度積み上げたものを一定のルールに沿って全国に配分するというものでありますので、このお金については、必ず行き先があるという性質のもの

であります。

今回かなり特殊な状況ですが、ほとんど全ての自治体において精算が行われるという状況にもかかわらず、このように実質的な交付税総額が変わらないという状況を総合的に判断しますと、精算の中身というのは、結果的には基準財政需要額側の増加に転嫁されるなどして、交付税の金額自体は、コロナ禍前からそこまで変化しないという結論が導き出されます。

端的に申し上げれば、県においても三か年における精算の影響は受けませんが、実際に来る交付税の額はそこまで変わらないうちではないか、少なくとも、県が説明されてきたかき離額の五百六十六億円が丸ごとなくなることはまずないと思われま

その証明として、実際本県においては、令和四年度に交付された交付税が令和二年度に比べてほぼ変わらず、反対に県税が大きく増えていることで百三十五億円が積み増しているという状況です。これらのを踏まえた上でも、県としては精算の結果、残高がコロナ禍前の六百五十二億円程度まで減るといふ認識で予算編成をされていくのか、知事に伺いたいと思います。



■大野知事 答弁

普通交付税は、課税の実績額との間に格差が生じた場合に精算する制度となっております。これは議員御指摘のとおりです。本県では、令和三年度、そして四年度に、法人事業税等の実際の税収が交付税算定上見込んだ額よりも多く、結果として普通交付税が過大に交付されたことから、後年度に精算制度による減算措置がなされます。このため、精算制度による普通交付税の減算措置見込額を基金に積み立てているというところであります。

議員のお話にもございました地方交付税と臨時財政対策債の合計額は、例えば令和二年度と令和四年度との比較において、市町村も含めた地方財政計画面上、つまり道府県と市町村の両方では増加をしておりますが、本県の当初交付決定額は減少しております。これは、法人事業税等は道府県税であるために、精算制度における実質的な交付税では、市町村の場合には令和二年度から四年度にかけて、増加したわけでございますけれども、道府県の方が法人事業税等の方が大きいということが要因としてあるので、逆に道府県では減っている、そして埼玉県においても減少しているということでございます。したがって、現時点では実

質的な基金残高がコロナ前の水準に戻る前提に立って予算編成を行わざるを得ないという状況にあります。

議員御指摘のとおり、地方交付税の交付額は、需要と収入の差引きで算定されることになるため、基準財政需要額の措置のされ方によっては、もちろん見込みを上回るということもあり得ます。今後、実質的な基金残高の状況を見ながら、地方交付税と臨時財政対策債の合計額が見込みを上回った場合には、その財源を有効活用して予算編成をさせていただきたいと考えております。

補助金申請の経験を活かし 企業支援強化を

(2) 産業政策とDX

尾花 危機対応の結果、従来では挑戦しにくかった新たな政策展開ができた代表分野は、産業振興と医療の分野であると思えます。そこで、この分野について順次伺ってまいります。

単独の市町村を超える産業振興は、県が担う大きな仕事ですが、中小企業支援分野で知事会が呼ぶところの「空飛ぶ補助金」をはじめ、昨今では、市町村や事業者が県を飛ばして国と直接やり取りするケースの増加傾向もあり、また、県内の中小企業、小規模事業者数は十六万を超える規模感ゆえ、現実的には、県政がマスのサイズで直接事業者へ各種政策資源を届けるというイメージは持ちにくかったというのが、これまでの感覚ではないかと思えます。

しかし、コロナ禍中では、半ば実証実験的に電子申請を併用した補助金のデリバリーが行われ、感染防止対策協力金の総件数では二十二万三千三百九十二件の実績が出ているほか、電子申請サービス全体の利用件数は、令和元年度の四十一万三千二百七十四件から、四年度には百六十九万二千六百六十七件まで伸びており、申請の受け手として県がこれまでの大規模な対応を行ったことは、大きな土壌の変化であると思われ

知事公約のうち、DXビジョンについては、事業者のDXへの取組割合を令和五年度までに五〇パーセントまで引き上げると定められておりますが、四年度当初時点では一九・一パーセントにとどまっております。県が社会的インパクトを生むことまで本気で想定するならば、対面で行っている施策についても、実績の桁数まで変える意識でDX併用への切替えが必要と思えます。



例えば行政機関や経済団体、金融機関が一体となり、中小企業のDX化に取り組むDX推進支援ネットワークについては、その内容が有効な取組である一方、指標については、現在明確でないようであります。これについて、コロナ禍中にオンライン申請を行った事業者等を対象に大規模PRを展開して促進し、産業施策に今回の経験を反映していくべきと考えますが、知事の御所見をお伺いいたします。

■大野知事 答弁

コロナ禍を契機として、県の行政手続においてデジタル技術の活用が一気に広がり、電子申請・届出サービスの利用件数は大きく伸びることとなりました。こうしたDXの流れを後戻りさせることなく、加速させていく必要があることについては、私も同感であります。

感染防止対策協力金の申請にオンラインシステムを活用したことにより、県は、約二万の飲食店事業者のメールアドレスなどの情報を入手いたしました。この連絡先は、個人情報保護の観点から、施策のPRなどに活用することができません。

一方で、協力金申請と同時並行して企業の皆様に御活用いただきたい支援情報を県から直接お届けする事業者向けのLINEを開始しております。このLINEには、現在、約一万九千の事業者に登録いただいております。これまで支援金や補助金の周知、埼玉県DX推進支援ネットワークの支援情報案内などを行ってきたところでありま

議員御指摘のとおり、事業者のDXの取組割合は、令和五年度末の目標値と現在の実績値に開きがございます。

そこで、今年度から優れたDXの取組の表彰制度を開始し、小規模な事業者においても取り組むことができる成功事例についてLINEで幅広く発信して、横展開を図ってまいります。今回のコロナ禍では、ペーパーレス化など県庁のDX化の第一のステップは大きく進みましたが、これを更に前進させ、事業者の皆様が利便性の向上を実感できるよう、産業施策に生かしてまいります。

「コロナの学びから医療保健体制の改革を」

(3) 地域医療体制の整備

尾花 本県は、長年にわたり人口十万人当たりの医師の数が全国最下位で、これに加え、今回、医療が実質都道府県ごとに遮断されたことで、本県が医療資源を東京に依存していること、感染症に対する保健所を中心とする体制が不十分であったことといった有事のせい弱性が浮き彫りになったと考えます。

知事は、議会にて、「感染対策に有効であった体制や仕組みを継続するとともに、感染症専門人材の育成に努めていく」旨、

述べられており、マニフェストでも、医療人材の確保、感染症人材の育成支援をうたわれておりますが、新たな感染症も想定し、今回を経た備えを構築すべきと考えます。知事の御所見をお伺いいたします。

■大野知事 答弁

新型コロナウイルス感染症の発生当初、想定のような未知の感染症であったため、対症療法的な対応を余儀なくされました。その中でも、県医師会と緊密な連携を取り、診療・検査医療機関をいち早く公表するなど、医療提供体制の構築を図りました。

また、感染症対策の専門的体制として、感染症専門医や感染管理認定看護師等で構成するCOVMA Tや、オンラインで感染防止対策を指導するeM A Tを全国に先駆けて整備をしたところでありました。これらの新型コロナウイルス対応として構築してきた感染症対応の体制を継続させていきたいと思っております。

他方で、必要な感染防止対策を実施するための専門人材が十分ではないという課題も明らかになりました。令和四年十二月に改正された感染症法では、県は、予防計画を改定し、感染症の予防に関する人材を養成することとされました。感染症対応の専門人材としては、医療現場で治療に当たる医療専門職のほか、クラスターに対し助言を行う感染管理の専門家や疫学情報を分析する専門家など、幅広く育成が求められております。

県では、感染症の基礎を学び、医療現場で対応の中心的な役割を担う人材の育成を目指す感染症専門人材研修を行い、令和四年度は百十四人が研修を修了いたしました。引き続き、全ての入院医療機関に知識を持ったスタッフが配置されるよう、感染症専門人材研修等を実施してまいります。医師会、医療機関や保健所設置市等との連携を更に深め、新たな感染症に対する準備を進めたいと思っております。

(4) 保健所等の体制

■尾花 各種民間で実施されたアンケートで、本県は、『保健師や保健所職員への業務の偏り』を課題として回答されたケースが見られますが、この対応に関しては、直営と外部委託のバランスの問題や、民間事業者との日頃からの協働体制、更には迅速な発注と公正性の両立が課題と考えます。ポストコロナでは改善が図られているべきと思っておりますが、見解をお伺いいたします。

■保健医療部長 答弁

新型コロナウイルス感染症の対応では、感染者数の増減に応じて保健所への応援職員を柔軟に配置するなど、全庁職員がワンチームで業務に従事しました。さらに、感染拡大時には、民間事業者からの人材派遣や県内の大学教員である保健師等に御協力を頂き、保健所業務の体制強化に努

めました。

昨年度、感染症法が改正され、現行の予防計画を改定し、都道府県は、平時から新たな感染症等の危機に備えることとされました。予防計画では、保健所業務のひっ迫を防止するため、当初の一月に十分対応可能な体制を想定し、準備することとされています。その当初の体制は、本庁からの応援職員に加え、保健師等については、即応可能な外部人材も活用します。こうした対応をしている間に更なる感染拡大に備え、様々な業務委託などを進めます。

今年度から外部人材の確保対策として、国が構築した即応人材の登録の仕組みを活用し、県内で登録された方々に対して、平時からの情報共有や計画的な訓練等を行っていく予定です。コロナ禍の経験を生かしながら、最前線に対応する保健所の業務体制について、迅速な対応ができるよう、平時から着実に準備を進めてまいります。

(5) 医療資源の地域マネジメント

■尾花 発熱者の診療を行う診療・検査医療機関については、当初、個々の医療機関名は公表されませんでした。厚労省がこの公表を依頼したことに対し、最終的に実現ができたのは、本県と高知県のみであったと聞いております。その際には、医師会の強力なリーダーシップと連携が鍵になったとお聞きしており、医療現場で地域連携の視点が強まったことは、今後につながる本県の貴重な財産になったと思われれます。地域保健医療計画の次期策定についても迫っておりますが、いかに地域連携の取組を今後行っていく考えでしょうか。

また、医療機関相互の分担、連携、効率化を目的とする地域医療連携推進法人が、本年三月に上尾市において県内で初めて立ち上がりました。県としてもこれを後押ししていくべきと考えますが、保健医療部長の見解をお伺いいたします。

■保健医療部長 答弁

議員お話しのとおり、診療・検査医療機関の体制構築に当たっては、令和二年十二月から診療・検査医療機関名を全て公表し、必要な方に直接これらの医療機関にアクセスできるようにするなど、県医師会と連携したことで先進的な取組を行うことができました。

県では、地域医療の課題解決には、医療関係者と連携を図ることが重要であると考えており、これまでも在宅医療連携拠点の設置など、地域の医師会との連携を図ってきたところとす。

各二次保健医療圏には、地域医療に係る課題や今後の方向性を議論する場として、地域の医師会を中心に医療関係者などで構成される地域医療構想調整会議や地域保健医療協議会を設置し、医療機能の分化・連携や介護との連携などを協議しています。今後ともこうした協議の場を活用し、医療関係者と連携を密にすることで、地域医療

の課題の解決に向け、取り組んでまいります。

次に、地域医療連携推進法人は、平成二十九年四月に施行された制度であり、医療機関相互の機能の分担、連携推進等のため、医療従事者の人事交流、医薬品等の共同購入、病床再編等の地域連携推進業務を行うことを目的としています。現在、全国で三十四法人が認定され、県内では、議員お話しのとおり、本年三月に初めて認定されました。この法人では、現在、共同研修や共同購入の準備を進めていると聞いております。

この制度は、地域医療構想推進のための手段の一つであることから、県としては、制度概要や認定手続を周知するとともに、地域医療連携推進法人設立の相談に丁寧に対応してまいります。

(6) オンラインを活用した医療資源の効率利用

■尾花 医療の地域偏在や診療科偏在などの改善のため、Tele-ICUなどオンラインを活用した医療資源を積極的に効率利用すべきです。将来は、診療科ごとに体系化され、複数の拠点と病院のネットワークが張り巡らされた状態を目指すべきと思っておりますが知事の見解をお伺いします。

■大野知事 答弁

自治医科大学附属さいたま医療センターを拠点に5病院が連携してコロナ以外の重症患者の診療支援も行われ、病院間の連携は進みつつあります。今年度4病院を加えてカバー可能なエリアを広げます。今後は現場ニーズや課題を整理し、診療科別のネットワーク構築の必要性について検討してまいります。

(7) 看護師人材の確保

■尾花 現在、病院の最大の課題の一つが看護師不足であります。知事もマニフェストにて、『看護師の職場復帰支援や感染症認定看護師の研修などの能力向上』をうたわれております。いかに行っていくかお考えか、また、『休職中の潜在看護師の復帰』が鍵と思えますが、これに向けて、『点滴や注射など技術的なブランクを埋めるセミナー開催等の支援』を県が主体的に取り組んでいくべきではないかと考えます。知事の御所見をお伺いします。

■大野知事 答弁

県が指定している埼玉県ナースセンターが、その方に合った就職先を紹介する無料職業紹介やハローワークに向いての巡回相談等の支援を行っています。

議員お話しのとおり、現場からいっとき離れていた、いわゆる潜在看護師の復帰を支援する取組も大変重要と思えます。そのため、県はナースセンターに委託をし、個々の技能に応じた技術講習会や医療現場で実施する実践的な技術講習会など、復職

に対する不安を取り除くための講習会も実施しており、私も実際に現場にてその様子を視察いたしました。令和四年度には、当事業を利用いただいた約一千人の潜在看護職員の方が復職されました。

また、看護の質の向上については、認定看護師の育成支援などを図っております。認定看護師の資格取得に必要な教育を受講する看護師のうち、感染症や在宅高齢者医療の分野など、需要が高く人材が不足している分野を選択した方を対象に、受講料への補助を行っております。また、研修受講を促進するため看護師が不在となる医療機関に対して、人件費の補助も行っております。これらの取組を潜在看護師や能力向上を目指す看護師に利用していただくことにより、看護人材の確保、養成に引き続き取り組んでまいります。

市町村を尊重した支援 (コバトン健康マイレージ)

(8) 市町村連携 (コバトン健康マイレージ) について

尾花 コロナ禍においては、行政の足並みに違いが出る場面というのも多く、国、地方、そして市町村との連携、分権を再考する機会ともなりました。今後は、行政資源を効率的に利用することが重要であり、県からの支援強化が必要な場面自体は増えると思っております。

一方で今回、県が主体となり市町村の協力の下、実施された配食キットについて、昨年の十月頃に感染者数が減った際、県が事業を取りやめ、地域によっては急ぎよの事業廃止が困難で、地元市町村が独自財源によって継続をしたという例がございます。事業の削減や内容の変更といったことがあった際、住民に対し十分な説明を行うための根拠をより丁寧に提示してほしいとの声は常に上がっております。

そこで、ここで伺いたいのは、マニフェストのうちDXの部分に掛かると思いますが、コバトン健康マイレージについてであります。

県は、令和六年の三月をもって終了し、市町村が主体的に取り組める下地が整ったため、事業については移管したいとしておりますが、当県議団として当初予算に附帯決議を付し、医療費抑制効果と健康寿命の延伸について、調査及び検証結果を明らかにした上で市町村移管を行うとともに、経過を把握するよう求めてきた経緯があります。現状のまま市町村に使用せよというのは、私もあまりにも無謀であると考えますが、現在の進捗と見通しについて、知事の御所見を伺います。

大野知事 答弁

昨年度実施したマイレージの効果検証を踏まえ、民間健康アプリの充実など事業環境の変化に鑑み、県の役割を、民間健康ア

プリを活用して保健事業を行う市町村を側面から支援することといたしました。

また、医療費抑制効果などの効果検証結果については、今年五月に最終報告結果について説明し、市町村から御理解を頂きました。現状のコバトン健康マイレージに代わる次期健康増進アプリへの参加意向を調査したところ、現時点では四十八の市町村から、次期歩数アプリへの参加希望がございました。県では市町村から個別に相談に応じております。

また、アプリ事業者の選定については、六月に総合評価方式の一般競争入札を採用したところ、七事業者が参加し、契約締結に向けた調整を行っております。導入時期は、令和六年一月からの試行運用、令和六年四月からの本格稼働を予定しております。今後とも事業の実施主体である市町村が新たなアプリを円滑に運用できるよう支援してまいります。

これまでコバトン健康マイレージにつきましては、医療費抑制効果などの効果検証結果について、二度にわたり、中間報告並びに本年には最終報告が行われて、調査を行わせていただくとともに、逆に、これから移行する対象となる市町村に対してアンケート調査を行わせていただき、その両方の調査結果を踏まえて、市町村と数次にわたり協議させていただきました。

今後も丁寧に、必要な場合には市町村と検証結果を踏まえて協議をさせていただきたいと考えております。

私学法改正による幼稚園法人への影響と対策を

3 教育施策

(1) 私立学校法改正による影響

尾花 まず、私立学校法改正による影響について伺います。

私学の在り方に関して、かつて国は、大正七年、大学令により、最高学府としての大学に対し、永続的に運営ができる保証として多額の基本財産の供託を求めました。時代は、はるかに下り、このたび学校法人のガバナンスの強化を求め、私学法が改正となりましたが、もともと五年後の見直し規定だったにもかかわらず、大学の不祥事等を踏まえ、令和七年の施行に向けて、このたび公布されました。この急ぎよの改正により、大学をはじめ各学校法人が対応に追われている現状を耳にしております。

これについては、知事所轄の学校法人もその対象となるため、特に幼稚園法人等の準備を鑑みると、県として対応すべき点を早めに明確化し、迅速に取り組んでいかなければならないと考えますので、以下伺いたします。

一点目、大臣所轄と知事所轄では運営体制の違いが大きいと、特に幼稚園法人向けに関しては、運営体制の規定等が大臣所轄と同様とならないよう、国に対して提言していくべきとも考えますが、現段階にお

いて県が想定する課題について、お伺いたします。

二点目、改正法の施行までに学校法人に対して説明会を開催し、新制度の内容と必要な対応、そして今後のスケジュールの周知徹底を国から求められております。県では、いかに課題を整理し、進めていく考えであるか、お伺いたします。

総務部長 答弁

大きな改正点としては、理事会と評議員会の関係性において、これまでの両者の協働という機能のみならず、理事と評議員の兼職の禁止等による相互けん制機能が新たに整備されることが挙げられます。結果として、例えば理事や評議員の新たな人選や、学校法人の根本的な規則である寄附行為の全面的な見直しなどが必要になります。

議員御指摘のとおり、学校法人は運営体制の規模は様々でありまして、とりわけ専任の事務職員がいらないような幼稚園法人では、事務負担も大きく、令和七年四月一日の法施行までに必要な手続を完了できるかが課題になると考えます。

一方で、改正法に対する国会の附帯決議において、小規模な学校法人に対しては、運用面での負担軽減措置を講じることとされており、県といたしましても、引き続き国との情報共有を密にしなが、各学校法人が適切に対応できるよう留意してまいります。

今回の法改正の内容につきましては、その概要や説明資料、解説動画など、国から示された情報を直ちに県内全ての学校法人に周知をいたしました。

一方で、政省令の改正をはじめとした詳細な情報が現時点では国から提供されていないため、今後、具体的にどのような準備をしなければいけいかならないといった学校法人が多いのも実情であります。モデルとなる寄附行為などを分かりやすく整理し、今後必要となる対応や具体的なスケジュールについて、説明会や研修の場などを活用し、しっかりと共有してまいります。その上で、例えば専任の担当者を配置して、学校法人が個々に抱える課題に応じてオーダーメイドでサポートするなど、丁寧に対応していきたいと考えています。

今回の法改正への対応によって各学校法人の運営体制が強化され、未来ある子供たちの学びの充実につながっていくよう、円滑な準備を促してまいります。

(2) 中高一貫校の敷設について

尾花 近年、さいたま市、川口市や、また私学においても中高一貫校は増加傾向にあります。本県においては、人材輩出の下支えとなる教育改革に取り組み、平成十五年には、首都圏でいち早く伊奈学園総合高校に中学校を敷設されておりましたが、今後、中高一貫校の敷設を進める考えが、ありかどうか、日吉教育長の御所見をお伺いたします。

■教育長 答弁

私は、誰一人取り残すことなく、子供たち一人一人に目配りをし、寄り添いながらきめ細かく支援していくことが公教育としての大切な役割だと考えています。子供たちの様々なニーズに応える多様な選択肢の一つとして、六年間を見通したゆとりある学校生活を可能にし、柔軟性の高い教育課程により、生徒の学びを豊かにする中高一貫教育は、意義あるものと考えております。令和三年度に伊奈学園中学校及び伊奈学園総合高校における中高一貫教育について検証を行いました。検証した結果、中高一貫教育では、六年間を見通した計画的、継続的な教育活動を通して意欲的な生徒の進路実現が図られ、目的意識の高い生徒の育成につながっているなどの成果が見られました。

課題として、通学可能な地域に偏りがあるため、中高一貫校を選択することが難しい地域もあることなどが挙げられています。このような検証結果を踏まえ、中高一貫教育ならではの教育課程や生徒の通学の利便性にも配慮したパランスの良い配置など、中高一貫校の設置検討を進めてまいります。

特色ある学校と教育施策を進めるべき

(3) 特色ある学校づくりについて

■尾花 平成十六年度に旧十二学区あった通学区を撤廃して全県一区とされましたが、平成二十二年度から、進学指導重点推進校を指定した際、旧学区である第一北部、上尾市など、第二東部、和光市など、第二西部、飯能市など、第三、東松山市など、第四、秩父市など、第五、本庄市などには指定がされませんでした。貧困要因をはじめ、教育機会の不平等は大きな社会課題であると考えますが、六つの旧学区において指定をしなかったことは、教育の公平性を欠いていたと思えてなりません。

また、現在、政府は、高等学校を活用した地方創生の推進を打ち出しており、令和四年度から年次進行で実施されている新学習指導要領では、より良い学校教育を通じて、より良い社会をつくる目標を、社会、学校が共有し、連携と協働しながら、時代に求められる資質、能力を子供たちに育むという社会に開かれた教育課程の実現が今、目指されており、

教育関連の負担が家計に重くのしかかっている今日、公的な支援として、六つの旧学区に新たな対応策として、再度、進学指導重点指定校の指定等に取り組み、あるいは伊奈学園中学校の開校時に検討された全県制の自然体験型の学校設置や、旧第四学区方面には観光に特化した学校といった、都市部から山間部までを含む本県、埼玉県の特徴も生かし、その地域特性それぞれに合わせた特徴的な学校やカリキュラム設置を今こそ進めるべきではないかと考えますが、教育長の御所見をお伺いいたします。

■教育長 答弁

まず、六つの旧学区に、新たな対応策として推進校の指定に取り組むことについてでございます。

県では、平成二十二年度から三年間、進学指導重点推進校十一校を指定し、将来、様々な分野で活躍できるような人材の育成に努めてまいりました。その後も、事業の名称や推進校の指定変更を行いながら、本県の進学指導のけん引役となる学校に対し、生徒の学力向上に向けた支援を継続的に行ってまいりました。



コロナ禍におけるICT環境の充実に伴い、令和四年度からは、進学指導重点推進校であった学校などで実施する大学進学希望者向けの夏季講習を、推進校に限らず全ての県立高校の生徒がオンラインで受講できるようにしたところです。この取組により、生徒同士が学校の枠を超えて切磋琢磨することで学習意欲が向上するとともに、教員も互いに刺激を受けながら指導力の向上につながっております。今後も引き続きICT機器を活用し、県全体の教育力向上に努めてまいります。

議員お話しのとおり、学校と社会が目標を共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる生徒の資質、能力を育むことは大変重要であると考えます。

現在、本県には、地域特性に合わせた様々な取組を行っている学校がございます。例えば飯能高校では、学校設定科目の地域創造学において、市の観光プロデューサーとして観光PR動画を作成することで、地域の魅力を発信する取組を行っております。また、秩父農工科学高校では、地域の森林を生かした蜂蜜づくりに取り組むNPO法人等と連携し、加工したトマトの果肉をミツバチに与えて、健康に良いとされる成分を含んだ蜂蜜を開発する事業を実施しています。

今後も引き続き、各高校において社会に開かれた教育課程の実現を目指して、地域特性に合わせた様々な取組を行ってまいります。

水上公園跡地整備の現状は

4 スポーツ科学拠点施設と上尾運動公園の一括整備について「地区記載箇所①」

■尾花 次に、項目の四、スポーツ科学拠点施設と上尾運動公園の一括整備についてお伺いいたします。整備予定地は、昭和四十二年、埼玉国体

メイン会場として開園した上尾運動公園内にあり、四十六年には、県誕生百周年記念としてオープンしたさいたま水上公園が、「東洋一の水の殿堂、北のさいたま水上公園、南の大磯ロングビーチ」と言われ、大変な賑わいを創出するなど、長年にわたって県民に親しまれてきたエリアであります。

水上公園の閉園に伴い、令和三年十二月に県が実施した、ありがとうイベントでは、私も含め多くの人々が別れを惜しみ、その後継にふさわしい施設整備が県民の切なる願いであります。

同時に、ここについてはもともと農事試験場があり、周辺の土地を住民が提供してきた歴史や、県道拡幅をはじめ周辺のメンテナンスが遅れており、交通環境ゆえにバス停が三度移動してしまったことや、公園利用者によるごみの投げ捨てなど、県の施設が長期にわたり住民生活に影響を与えてきたということも、エリアが持っているもう一つの顔であります。

整備計画を進める科学拠点施設は、原則として民間事業者による独立採算方式で進めることとしていますが、様々な変遷を経て運動公園と一括整備に変化したとのことであり、地元としても期待と不安とがある状況です。今回導入のParkPFI手法は県としても初めての方式で、都市整備部等を含むプロジェクトチームでの取組となったと聞いております。この手法が採用された経緯及びメリットをお尋ねいたします。



①水上公園跡地の開発

■県民生活部長 答弁

整備手法がParkPFIになった経緯についてでございます。

スポーツ科学拠点施設の整備、運営に関して、民間活力の活用の可能性を調査するため、令和三年度及び令和四年度に、事業者から意見を聞き取るサウンディング調査を実施いたしました。調査では、「アリーナを整備すればプロスポーツの試合や集客イベントも開催でき、宿泊施設などの収益が上がる」「県民の健康づくり、スポーツ振興についてはフィットネス等の知見が生かせる」などの声が聞かれ、官民連携による整備手法が効果的であると分かりました。

スポーツ科学、公園整備の有識者や地元上尾市の副市長などから構成される専門家会議で議論を深め、県庁内のプロジェクトチームにおいて検討を進め、その結果、上尾運動公園の東側のエリアを事業範囲として、公園施設も一体で整備するPark-PFIが最適な手法であるという結論に至り、本年三月に策定した基本計画の中で定めたものと一致しています。

Park-PFIのメリットについては、例えば、民間事業者が宿泊施設やレストランなど設置する施設から得られる収益を他の公園施設の整備に活用することで、県の財政負担を軽減しつつ魅力ある公園整備が行えるというメリットが伺えます。また、事業者にとっては、公園内に整備する施設の建ぺい率の制限が緩和される、施設の設定許可期間を長く設定でき、初期投資の回収が見込みやすいなどのメリットも伺えます。

基本計画におきまして、スポーツ科学拠点施設は、アスリートの競技力向上だけでなく、県民の体力、健康づくりをはじめとしたスポーツの普及を目的とした施設であると位置付けております。Park-PFIのメリットを最大限に生かし、スポーツ科学拠点施設が地元の方々をはじめ多くの県民に愛され、地域の誇りとなる施設となるよう努めてまいります。

原市沼の開発案 市町と連携し人の集う場づくりを

5 原市沼調節池を核とした賑わいづくり
〔地図記載箇所②〕

尾花 次に、項目の五、原市沼調節池を核とした賑わいづくりについてであります。かつて、東京一極集中の是正から始まったプロジェクトである業務核都市構想は、さいたま新都心をはじめ、みなとみらい



②原市沼開発による人の賑わい作り 市・町と連携

21、幕張メッセなど、当時描かれた未来を一定の形で実現し、今日を形づくっております。Y O U A n d I 推進

進室が設置されていた当時の構想と比較すると、上尾・伊奈エリア、つまり「And I」に当たる部分はプランの実現に乏しく、夢から大きく遠のいた現在であるとの声が大変多く聞かれます。

新都心は、住みたいまちへのランクインをはじめ、東日本の玄関口として整備が進んでおられますが、上尾・伊奈は、埼玉県が重要な位置付けに至る今日までの間、新幹線の分岐によるまちの分断など、地元の

多大な協力を得てきたエリアである反面、この新幹線敷設の補償の文脈もあって開通したニューシャトルについても、料金値下げの要望は、なかなか実現に至っていない状況であります。

私は、そういった意味で、上尾・伊奈に面した原市沼について、現在、調節池としての整備に取り組んでいたところではあると思いますが、かつての知事と四市一町の首長がY O U A n d I 首長会議として参加していた、そして県のY O U A n d I 推進室が提唱していた人の賑わいを生む公園化、さらには緩瀬川断層付近への防災観点も含む水辺整備を行い、民間活力の導入可能性も含め、レイクタウンとしての再生をしていただきたいと思っております。

利根川を曲げるという後にも先にも例のない大規模治水によつて、江戸と今日の首都圏のその基盤を築いた伊奈忠次、伊奈備前守の文化資産も活用し、調節池を核に人の集う場としての整備を提案しますが、見解をお伺いいたします。

県土整備部長 答弁

原市沼調節池につきましては、現在、上の池調節池を整備しています。既に完成している下の池調節池左岸では、伊奈町が活用し、多目的広場として活用しております。県では、令和三年度から、魅力ある水辺空間の創出を図るため、地元市町村や民間事業者等と連携し、水辺deベンチャーチャレンジに取り組んでいます。水辺deベンチャーチャレンジは、河川空間の利活用を進めるため、民間事業者等が持つアイデアやノウハウを生かし、オーダーメイドの水辺空間を行う事業です。

この事業は、市町村等からの申請が必要となります。このため、県では説明会の開催や個別相談に応じ、これまでに十三の市町から申請があり、実施候補所に登録しております。現在、地域ごとの特性を生かし、河川を核とした人々が賑わう水辺空間の検討や工事を進めているところでございます。県の史跡に指定されている伊奈屋敷跡などを生かした水辺空間づくりに原市沼調節池を活用できないか、地元市町と意見交換を行ってまいります。

滞っていた北上尾立体交差の原因判明、整備が動き出す

6 地元問題について

① 北上尾立体交差〔地図記載箇所の③〕
尾花 北上尾立体交差についてであります。

上尾市は、高崎線をまたぐ東西交通が大きな弱点であり、この改善につながり得るとして整備箇所としての大きな期待をされながらも、平成九年の都市計画決定から一向に解決が図られていない県道上尾環状線いわゆるBS通りと久保踏切、この立体交

差化について、まずお伺いいたします。

北上尾駅に近い当該踏切は、遮断時間が長く、交通量も多く、特に朝晩は混雑がひどい状況であります。計画決定当時とは資材の価格や道路交通量等の変化も経て、現実に即した一刻も早い立体交差化が地元では望まれておりますが、進捗と見通しをお伺いいたします。



③北上尾の踏切立体交差化を再始動

県土整備部長 答弁

県道上尾環状線とJ R高崎線が交差する久保踏切は、踏切を除去するため、鉄道高架部をアンダーパス構造で立体交差化する計画です。これまでに、久保踏切から東側の県道鴻巣桶川さいたま線までの区間については、土地区画整理事業に合わせ用地を取得しました。平成二十九年年度から鉄道事業者と立体交差に係る協議を進め、令和元年度には鉄道交差部を含む道路概略設計を実施しました。

この箇所には、県企業局所管のシールド外径二メートルの水道管が埋設されており、アンダーパスの工事を行うには、水道管を移設する必要があります。今後は、アンダーパスの施工方法や、水道管の移設位置などについて、鉄道事業者及び企業局と協議を進めてまいります。

伊奈町の将来を拓く伊奈中央線の整備加速を

尾花 ② 都市計画道路伊奈中央線〔地図記載箇所④〕

こちらは、伊奈町の中心部を南北に縦断し、完成後は正に伊奈町の背骨となる、期待がされる道路です。これまでに県道さいたま栗橋線から上尾環状線までの区間は開通し、現在、その先線である上尾蓮田線までの区間が事業中となっております。この道路と並行する蓮田鴻巣線は、幅員が狭く、歩道が未整備の区間が多いことから、整備を加速してほしいとの強い要望がありますが、進捗と見通しについてお伺いいたします。



④伊奈中央線の整備加速

県土整備部長 答弁

県道上尾環状線から県道上尾蓮田線までの六百五十メートル区間の進捗状況については、用地買収率は三二パーセントとなっております。令和五年度は、県道上尾環状

線との接続部で一部工事に着手してまいります。今後の見通しですが、引き続き用地取得を進めるとともに、まとまって用地が確保できた箇所から順次工事を実施してまいります。

第二産業道路整備加速を、年内供用開始との答弁！

■(3) 第二産業道路(地図記載箇所⑤) ■尾花 上尾環状線から上尾蓮田線までの区間で事業を進められており、国道一七号や旧中山道の渋滞解消はもちろんのこと、緊急輸送道路としても重要であり、そしてその先には上尾、伊奈が今後令和十五年稼働に向けて共同建設予定のごみ処理場周辺への接続可能性もある、未来を開く重要な道路であります。

今後の地域経済の発展、ひいては埼玉県の発展につながる整備に向け、一日も早い完成を望みまして、進捗と今後の見通しを県土整備部長にお伺いいたします。



⑤第二産業道路の早期供用と先線開発

■県土整備部長 答弁

この道路は、草加市内の都県境から県中央部を縦断し、上尾市の県道上尾環状線までの約二四・六キロメートルが整備済みとなっております。現在、その北側の県道上尾蓮田線までの九百メートル区間の整備を進めております。

現在の進捗状況ですが、用地買収率は九八パーセントとなっており、二車線での部分供用に必要な用地は確保されております。工事につきましては、県道や市道との交差点を除きおおむね完了しているため、残る工事を進め、年内の供用を目指してまいります。



尾花あきひと 上尾伊奈政策 最新の動き

県議となり各地域の願いを訴え施策が動き始めました。



①水上公園跡地の開発



②原市沼開発による人の賑わい作り 市・町と連携



③北上尾の踏切立体交差化を再始動



④伊奈中央線の整備加速



⑤第二産業道路の早期供用と先線開発

(地図の①～⑤は一般質問本文参照)



⑥平方の県道緑地帯 除草・剪定作業



⑦西上尾第1団地前の冠水対策 雨水マスを下流に接続(接続先を複数試行中) ※市と連携



⑧鴨川 雑草刈払



⑨上尾小学校前信号機 ボタンを押してからの待ち時間を短縮



⑩芝川都市下水路雑草刈払 ※市と連携



⑪小室 丸山駅～高齢者施設～保育園区間の歩道整備 ※町と連携

